

SoftBank 301Z

User Guide 取扱説明書



SoftBank

はじめに

このたびは、「SoftBank 301Z」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 301Zをご利用の前に、「クイックスタート」および「取扱説明書（本書）」をご覧ください。正しくお取り扱いください。
- 本機は、ソフトバンクシンプルスタイル（3Gケータイ）に対応した携帯電話です。詳しくは、「シンプルスタイルご利用ガイド」をご覧ください。
- 本機は、Yahoo!ケータイに対応していません。
- 「メールし放題」にご加入いただいている場合、My SoftBankにて、メールアドレスの変更などのメールに関連した設定ができます。
- My SoftBankは「メールし放題」の有効期間内のみご利用いただけます。

SoftBank 301Zは、3G方式に対応しております。

ご注意

- ・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（P.12-12）までご連絡ください。
- ・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

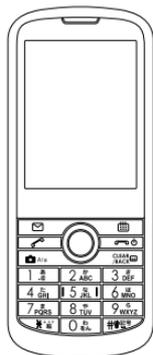
本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
<http://www.softbank.jp/mobile/products/list/301z-prepaid/>

本書の構成

本機をご利用になるための準備や基礎的な知識、基本的な操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通操作	2
本機の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	My SoftBank	5
本機で利用できる便利な機能やサービスについて説明しています。	カメラ	6
	ツール	7
本機のセキュリティについて説明しています。	セキュリティ	8
	データフォルダ	9
本機やメモ리카ードに保存されるデータ、データの管理について説明してします。	メモ리카ード	10
本機の音や表示、ネットワークなどの設定について説明してします。	カスタマイズ	11
本機についての資料や各種情報、索引などをまとめています。	資料／付録	12

お買い上げ品の確認

□301Z (本体)



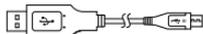
□電池パック (ZEBAT1)



□ACアダプタ (ZECAP1)



□microUSBケーブル (ZEDAD1)



□クイックスタート

□Quick Start Guide

□保証書 (本体、ACアダプタ)

- 保証書を含め付属品は大切に保管してください。
- 本機ではmicroSD™/microSDHC™カードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のSDカードを購入してください。

本書の見かた

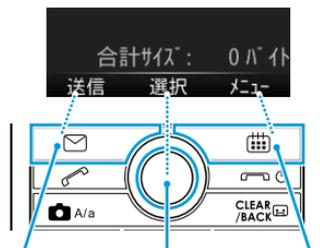
本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめご了承ください内容

- 「SoftBank 301Z」を「本機」と表記しています。
- 「microSDカード」、「microSDHCカード」を「SDカード」と記載しています。
- 説明用画面およびイラストは、実際の画面表示や字体、形状などと異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。
- キーを押す操作は、簡略なキーイラストを使用しています。
- 特に説明がない限り待受画面から操作を開始する手順を記載しています。
- キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

ソフトキーについて

ソフトキーには、対応するキーの操作が表示されます。



左のソフトキー
を選択

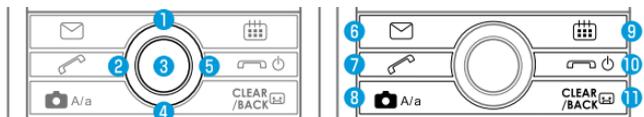
中央のソフトキー
を選択

右のソフトキー
を選択

・画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

キーを押す表記について

本書では次のように表記しています。



キー	キーイラスト	説明
1		上キーを押します。
2		左キーを押します。
3		確定キーを押します。
4		下キーを押します。
5		右キーを押します。
1 4		上キーまたは下キーを押します。
2 5		左キーまたは右キーを押します。
1 2 4 5		上キー、左キー、下キー、または右キーを押します。
6		メールキーを押します。
7		発信キーを押します。
8		カメラキーを押します。
9		カレンダーキーを押します。
10		電源/通話終了キーを押します。
11		削除/戻る/簡易留守録設定キーを押します。

操作手順の表記について

ここで記載している操作手順の内容は説明用のイメージです。実際の内容とは異なります。

手順記載の簡略化

本書では操作手順を次のように記載しています。

例) 新規S!メール作成から電話帳を使用した宛先の入力

- 1 待受画面で  (メール) を長押し
 - 2 宛先入力欄で ● (選択) → 「電話帳」
 - 3 送信相手を選択
 - ・  でタブを切り替えます。
 - ・  で行を移動します。
- 手順1
- 1-1 待受画面で  を1秒以上を押して、新規S!メール作成画面を表示させます。
- 手順2
- 2-1 新規S!メール作成画面で、<宛先入力>欄にハイライトを合わせて ● (選択) を押して、宛先入力メニューを表示させます。
 - ・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。
 - 2-2 宛先入力メニューで、「電話帳」にハイライトを合わせて ● (選択) を押して、電話帳の画面を表示させます。
 - ・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。
- 手順3
- 3-1 電話帳の画面で、送信相手にハイライトを合わせて ● (OK) を押して、送信相手の電話番号/メールアドレス選択画面を表示させます。
 - ・  または  を押して、「あ」タブ～「他」タブまでハイライトを左右に移動します。
 - ・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。

共通操作/操作開始条件の記載

共通の操作が多い場合は、共通の操作や操作を開始する条件を次のように記載しています。

例) S!メール作成時の送信設定

共通操作 新規S!メール作成画面で  (メニュー) → 「送信設定」

■メールの重要度を知らせる

 「プライオリティ」→ 重要度を選択

■メールが届いたかどうか確認する

 「配信確認」→ 「ON」

・常に配信を確認するには：(P.4-19)

■メールを指定したアドレスに返信するように設定する

 「返信先アドレス設定」→ 「ON」

・常に指定したアドレスに返信するには：(P.4-20)

・返信先アドレスを登録しておく必要があります。(P.4-20)

■共通操作

共通操作で、各操作を開始するための共通の条件を示しています。

■詳細操作

 で、各詳細の手順を示しています。

参照先の記載

参照先は、「(P.●-●)」でページを記載しています。

目次

本書の構成	i	ショートカットキー	2-3
お買い上げ品の確認	ii	着信時の動作	2-4
本書の見かた	ii	文字入力について	2-4
目次	v	文字の入力方法	2-6
安全上のご注意	vii	文字の編集	2-8
お願いとご注意	xvi	ユーザー辞書	2-9
知的財産権について	xvii	電話帳登録	2-10
本製品の比吸収率 (SAR) について	xviii		
Safety Precautions	xix	3 電話	
General Notes	xxix	電話のかけかた	3-2
Intellectual Property Rights	xxx	電話の受けかた	3-4
Specific Absorption Rate (SAR) for This Product	xxxix	電話にでられないときの操作	3-5
		迷惑電話の防止	3-6
		着信を拒否する	3-8
		通話中の操作	3-8
		通話履歴を確認する	3-9
		通話時間の確認	3-10
		オーナー情報の確認と登録	3-11
		緊急通報	3-12
		オプションサービスの利用	3-12
		4 メール	
		S!メールについて	4-2
		S!メールをご利用になる前に	4-2
1 準備／基礎知識			
各部の名称	1-2		
本体	1-4		
電池パックと充電器のお取り扱い	1-6		
電源を入れる／切る	1-10		
マナーについて	1-11		
マナーモード設定	1-11		
電波の送受信を停止する (機内モード)	1-12		
暗証番号	1-13		
2 共通操作			
共通操作	2-2		

メール画面の見かた	4-3
メールアドレスの変更	4-5
メール送信	4-5
メール受信	4-11
メールの管理／利用	4-13
緊急速報メール	4-18
その他の機能	4-19

5 My SoftBank

My SoftBank	5-2
-------------	-----

6 カメラ

カメラをご利用になる前に	6-2
静止画の撮影	6-4
動画の撮影	6-5
撮影した静止画／動画の確認	6-6

7 ツール

ツールについて	7-2
各ツールの操作方法	7-2

8 セキュリティ

301Zの利用を禁止／制限する	8-2
-----------------	-----

9 データフォルダ

データフォルダについて	9-2
-------------	-----

ファイルの確認	9-2
ファイルやフォルダ管理	9-5
ファイル／フォルダの編集	9-5

10 メモリカード

メモリカードを利用する	10-2
-------------	------

11 カスタマイズ

設定について	11-2
本体設定	11-2
画面設定	11-3
接続設定	11-3
通話設定	11-4
お買い上げ時の設定に戻す	11-4

12 資料／付録

USIMカードのお取り扱い	12-2
ソフトウェア更新	12-4
故障かな？と思ったら	12-5
絵文字一覧	12-7
メモリ容量一覧	12-7
主な仕様	12-8
索引	12-9
保証とアフターサービス	12-11
お問い合わせ先一覧	12-12

安全上のご注意

- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

301Z、電池パック (ZEBAT1)、USIMカード、ACアダプタ (ZECAP1)、microUSBケーブル (ZEDAD1) の取り扱いについて (共通)

危険



禁止

高温になる場所 (火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のごもりやすい場所 (こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など) においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタ・microUSBケーブルを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また充電端子を破損・焼損させる原因となります。



禁止

本機と充電器を接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



指示

本機に使用する電池パック・ACアダプタ・microUSBケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタとmicroUSBケーブルの発熱・発火・故障などの原因となります。

警告



禁止

本機・電池パック・ACアダプタ・microUSBケーブルを加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れて、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタ・microUSBケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホン接続端子に液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。
 2. 本機の電源を切ってください。
 3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。
- 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。パイブレーション（振動）設定中や充電中は、特にご注意ください。また充電中の落下は端子の破損の原因となります。



禁止

本機をACアダプタから取り外す際は、コードを引っ張らず、ACアダプタのコネクタを持って取り外してください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。

けがなどの原因となります。

電池パック（ZEBAT1）の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認したうえで、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠️ 危険



禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

変形した電池パックを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。ご使用の際は、電池パックの状態をご確認ください。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

失明などの原因となります。

警告



指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

注意



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

301Zの取り扱いについて

警告



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐車場で禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



禁止

充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

航空機内では本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内で携帯電話の電源を入れることは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。



指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



禁止

本機に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

■ 使用材料

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（ディスプレイ部）	PC/UV処理
外装ケース（側面部）	PC/UV処理、シルク印刷
外装ケース（背面部）	PC
外装ケース（電池部）	基盤部分：FR4；金属部分：メッキ；シール：PET
電池カバー	PC/UV処理
ディスプレイ	PMMA/シルク印刷
キー（黒色）	PC/ペイント、レーザ印刷

使用箇所	材質／表面処理
キー（銀色）	PC/NCVM、レーザ印刷
USIMカードスロット	金属部分：銅合金/ニッケルメッキ；樹脂部分：LCP
SDカードスロット	金属部分：ステンレススチール/ニッケル亜鉛メッキ；樹脂部分：LCP
外部接続端子	金属部分：ステンレススチール/ニッケル亜鉛メッキ；樹脂部分：LCP
イヤホン接続端子	金属部分：銅合金/ニッケルメッキ；樹脂部分：LCP
カメラ（レンズ部分）	ガラス/シルク印刷
カメラリング（銀色）	PC/UV処理
電池端子	金属部分：銅合金/ニッケルメッキ；樹脂部分：LCP
ネジ	亜鉛合金/黒亜鉛メッキ



指示

本機を長時間ご使用になる場合、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



指示

充電しながら携帯電話を長時間使用すると、本機や充電器の温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

USIMカード、SDカード（市販品）の取り扱いについて

⚠️ 注意



禁止

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。



禁止

USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。



禁止

USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。



禁止

本機を使用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。



禁止

SDカードスロットにSDカード以外のものを入れないでください。
発熱・感電・故障の原因となります。



禁止

SDカードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、SDカードを取り出さないでください。
データ消失・故障の原因となります。



禁止

SDカードは対応品以外のものを使用しないでください。
データ消失・故障の原因となります。

ACアダプタ（ZECAP1）、microUSBケーブル（ZEDAD1）の取り扱いについて

⚠️ 警告



禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・ヤけど・故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流ACコンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのプラグや端子を抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。



指示

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグやmicroUSBケーブルの端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

付属のmicroUSBケーブルは、本機の充電専用の機器です。他社製品の充電にご使用にならないでください。

万一、他社製品の充電にご使用され、ショート、火災、故障が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを挿したまま放置し、ACアダプタのプラグに異物や液体が付着したり、ACアダプタのプラグを踏みつけたりとすると感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。



禁止

microUSBケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。

感電・発熱・発火の原因となります。



禁止

電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

やけど・感電・傷害・故障の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

ACアダプタをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

火災や故障の原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省〔平成25年1月〕）の内容を参考にしたものです。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、本機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（P.12-12）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、本機やSDカードに登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
 - ・ 誤った使いかたをしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 動作中に電源を切ったとき
 - ・ 故障したり、修理に出したとき
- 回線の混雑状況や通話環境などにより、通信速度が低下、または通話できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用するUSIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。

- 充電中や長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 充電中はACアダプタが熱くなることがあります。

通話中／通信中の制限について

- 通話中／通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も、通話料、通信料がかかりますのでご注意ください。

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることを確認してください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合を除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

画像について

- 本機でSDカードに保存した画像データは、その他の端末では使用できない場合があります。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、緊急速報設定は「On」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 緊急速報設定を「On」にしている場合は、待受時間が短くなる場合があります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

お取り扱いについて

- 電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラの機能のご使用を心がけてください。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的または家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせず第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

本製品の比吸収率 (SAR) について

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- SIメール、SIベーシックパックは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2014 ZTE Corporation. All rights reserved.
- 本製品は (ソフトバンク携帯電話の一部では)、インターネットブラウザおよびメーラとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Messaging Clientを搭載しています。
- Copyright© 2002-2014 ACCESS CO., LTD. ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。本製品のソフトウェアの一部がIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS NetFront®

- microSD、microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- Yahoo!は、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

この機種【301Z】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準[※]は、人体の近くで使用される携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。本携帯電話機【301Z】の側頭部におけるSARの最大値は1.07W/kgであり、また下記の方法により身体に装着した場合のSARの最大値は0.502W/kgです。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置におけるご使用方法：

身体から1.0センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてご使用ください。本携帯電話機が当該方法により使用された場合において、電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることが確認されています。

※技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) に規定されています。

Safety Precautions

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank Mobile Corp. is not liable for any damages resulting from use of this product.

Labels

- These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

 DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
 WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
 CAUTION	Risk of minor injury or damage to property from improper use

Symbols

- These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

 Prohibited	Prohibited actions
 Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
 Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
 Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited
 Compulsory	Compulsory actions
 Disconnect Power Source	Unplug power cord

301Z, Battery (ZEBAT1), USIM Card, AC Charger (ZECAP1), Micro USB Cable (ZEDAD1)

DANGER



Prohibited

Do not charge, use or leave handset in places subject to high temperatures (near open flames or heating equipment, in direct sunlight or inside of cars on hot days). Also, do not charge, use or leave handset in warm places (inside of hermetically-closed bag or pocket, inside of kotatsus, electric blankets, or inside pockets together with pocket heater, etc.) where heat easily builds up since same risks might be incurred.

May cause deformation and malfunction of handset, or cause Battery to leak, overheat, ignite and rupture. Also, a portion of the case might get hot which may cause burns, etc.



Prohibited

When installing Battery, and connecting AC Charger or Micro USB Cable, if they cannot be smoothly installed or connected, do not force them. Check orientation of Battery and terminals, then install and connect.

May cause Battery to leak, overheat, rupture and ignite. Also that may cause Battery terminals to get damaged or burned.



Prohibited

Do not exert excessive force on the exterior of handset and charger by stepping on them when they are connected.

Charging when terminals are damaged may cause malfunction or fire. When charging, be careful of where you use and handle handset and charger.



Do Not
Disassemble

Do not disassemble/modify/solder handset.

May cause fire, injury, electric shock or malfunction. In addition, that may cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite. Modifying handset is a violation of Radio Law and subject to penalty.



Avoid Liquids
Or Moisture

Keep liquids away from handset.

When liquids such as water or pet urine get in, if it is left wet, and wet Battery is charged, that may cause overheat, electric shock, fire, injury or malfunction. Be careful of where you use and handle it.



Compulsory

Use SoftBank specified devices (Battery, AC Charger, or Micro USB Cable) only.

Use of non-specified devices may cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause AC Charger, Micro USB Cable to overheat, ignite or malfunction.

WARNING



Prohibited

Do not place handset, Battery, AC Charger, or Micro USB Cable in a microwave oven or pressure cooker, or on an induction cooktop.

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause handset, AC Charger, Micro USB Cable to overheat, emit smoke, ignite or malfunction.



Prohibited

Do not drop/throw handset or expose it to excessive shock.

May cause Battery to leak, overheat, rupture, ignite, or may cause fire, electric shock, malfunction.



Prohibited

Keep liquids (tap water, soft drink, seawater, pet urine, etc.) and conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments, metal necklaces, hairpins, etc.) away from charging terminals, External Device Port and Earphone Jack.

May cause short circuit, resulting in fire, injury or malfunction.



Compulsory

Turn off handset when entering gas stations or other places where flammable gases (propane gas, gasoline, etc.) or fine particulates are generated. Be sure to turn off handset beforehand. Do not charge Battery in such places.

Gases may ignite. Using handset near petrochemicals or other flammables may cause fire or explosion.



Compulsory

When you sense something is wrong such as strange noises, emission of smoke or strange odors, etc. while using, charging or storing, implement procedures below.

1. Hold AC Charger and unplug it from outlet. Also, be careful of getting burned since it might be hot, so disconnect handset.
2. Power off handset.
3. Be careful of burns and injuries, so remove Battery. Continued use may cause fire or electric shock.

CAUTION



Prohibited

Do not place handset on an uneven or unstable surface.

Handset may fall, leading to injuries or handset malfunctions. Be especially careful while vibration (vibrates) setting is active while charging. Also dropping while charging may damage terminals.



Prohibited

When disconnecting handset from AC Charger, do not pull on the cord, hold AC Charger connector and disconnect it.

The cord is damaged if it is pulled on, fire and electric shock, etc. may result because of damaged terminals.



Compulsory

Store in a place where infants and pets cannot reach.

Failing to do so may result in small parts being accidentally swallowed or may cause injury.



Compulsory

When children use handset, parental supervision is advised. Provide children with proper instructions.

Failing to do so may cause injury, etc.

Battery (ZEBAT1)

After verifying battery type by what is printed on Battery label, use it and dispose of it.

Label	Battery Type
Li-ion 00	Lithium-ion

DANGER



Prohibited

Do not dispose of Battery in fire.

May cause Battery to leak, rupture or ignite.



Prohibited

Do not damage (nail, hammer, stomp, etc.) Battery or subject it to strong impacts/shocks.

If a deformed Battery is used, it may cause leaking, overheating, rupturing or ignition. When using, verify Battery conditions.



Prohibited

Do not contact Battery terminals with metals such as needles, etc. In addition, do not transport and store Battery with conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments, metal necklaces, hairpins, etc.)

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.



Compulsory

If Battery fluid gets into eyes, immediately rinse with clean water and consult a doctor. Do not rub eyes.

May cause loss of eyesight.

WARNING



Compulsory

If Battery fluid gets on your skin or clothing, immediately stop handset use and rinse with clean water.

Battery fluid may harm your skin.



Compulsory

If Battery is not fully charged even after specified charging time, stop charging.

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.



Compulsory

When you sense something is wrong such as strange odors, emission of smoke, discoloration, or deformation etc. while using, charging or storing Battery, be careful to not get burned or injured, and remove Battery, furthermore keep away from open flames.

If used while there are anomalies, Battery may leak, overheat, rupture or ignite.



Compulsory

Be sure that pets do not bite on them. Also, do not use batteries that pets have bitten on.

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite, and may cause malfunction or fire.

CAUTION



Prohibited

Do not dispose of unneeded batteries in ordinary trash.

Cover terminals with tape, separately recycle them, or take them to your nearest "SoftBank Shop." In municipalities where batteries are separately disposed of, handle them in accordance with the laws.

 **WARNING**


Prohibited

Do not use handset while operating vehicles such as automobiles, motorcycles, and bicycles, etc.

May cause traffic accidents. Usage of mobile phones while operating vehicles is prohibited by law, and is subject to criminal punishment. For drivers who are going to use handset, park in safe places where parking is not prohibited, then use.



Prohibited

Do not cover or wrap with clothing or bedding during charging. Also do not sleep with it covered over by blankets or bedding.

Heat may build up resulting in fire, burns, or malfunction.



Compulsory

Keep handset power off near high precision electronic devices or devices using weak signals. Handset may cause these devices to malfunction.

*Devices that may be affected
Hearing aids, implanted cardiac pacemakers, implanted defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.



Compulsory

Power off handset on board airplanes. If set (alarm functions, etc.) to automatically power on, deactivate setting then power off.

May be detrimental to aircraft safety. Powering on mobile phones on board airplanes is prohibited by law, and is subject to criminal punishment.



Compulsory

People with weak hearts, be careful when setting vibration (vibrates) or volume of incoming communications.

May cause heart problems.



Compulsory

If thunder is heard while outside, immediately seek shelter.

Failing to do so may attract lightning and cause electric shock.

 **CAUTION**


Prohibited

Do not use handset in a vehicle if it affects in-vehicle electronic devices.

Use of handset in some types of vehicles may, in some rare cases, affect in-vehicle electronic devices and interfere with safe driving.



Prohibited

Keep handset away from magnetic cards.

Failing to do so may cause magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.



Compulsory

If skin abnormality occurs with use of handset, immediately discontinue use and consult a doctor.

Handset contains metals, etc. Depending on your physical condition, you may experience itchiness, rash, etc.

■ Materials List

Parts	Materials/Finishes
Outer Case (Display)	PC/UV finish
Outer Case (side)	PC/UV finish, Serigraph

Parts	Materials/Finishes
Outer Case (rear)	PC
Outer Case (Battery)	Base: FR4; Metal part: Coating; Seal: PET
Battery Cover	PC/UV finish
Display	PMMA/Serigraph
Keys (black)	PC/Paint, Laser etched
Keys (silver)	PC/NCVM, Laser etched
USIM Card Slot	Metal part: Copper alloy/Nickel coating; Resin part: LCP
SD Card Slot	Metal part: Stainless steel/Nickel zinc coating; Resin part: LCP
External Device Port	Metal part: Stainless steel/Nickel zinc coating; Resin part: LCP
Earphone Jack	Metal part: Copper alloy/Nickel coating; Resin part: LCP
Camera (lens)	Glass/Serigraph
Camera Ring (silver)	PC/UV finish
Battery terminals	Metal part: Copper alloy/Nickel coating; Resin part: LCP
Screws	Zinc alloy/Black zinc coating



Compulsory

If handset is used for a long time, do not charge, use or leave handset in places subject to high temperatures (near open flames or heating equipment, in direct sunlight or inside of cars on hot days). In addition, be careful since handset and charger get hot in warm places or places (kotatus, electric blankets and pocket heaters in pockets, etc.) easily stifled with heat.

Touching with skin and using for a long time may cause low temperature burns.



Compulsory

If handset is used for a long time while charging, since handset and charger may get hot, do not touch portions that get hot for a long time.

May cause low temperature burns.

USIM Card, SD Card (Commercial Item)

CAUTION



Prohibited

Do not use excessive force when installing or removing USIM Card.

Doing so may cause a malfunction. Be careful not to injure your hands or fingers when removing USIM Card.



Prohibited

Install specified USIM Card only.

Using other USIM Cards may cause malfunction/data loss.



Prohibited

Contact with IC chip on USIM Card is a potential cause of data loss or failure. Please avoid unnecessary contact.



Prohibited

USIM Card may be hot during using handset. It is able to be used normally.



Prohibited

Do not insert objects other than SD Card into SD Card Slot.

Doing so may cause overheating, electric shock or malfunction.



Prohibited

Do not subject SD Card to vibration or shock or remove it from SD Card Slot while data is being written onto or read from SD Card.

Doing so may cause data loss or malfunction.



Prohibited

Use only SD Card supported by handset.

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

AC Charger (ZECAP1), Micro USB Cable (ZEDAD1)

WARNING



Prohibited

Do not cover or wrap with clothing or bedding during charging. Also do not sleep with it covered over by blankets or bedding.

Heat may build up resulting in fire, burns, or malfunction.



Prohibited

Use specified power supply and voltage.

Failing to do so may cause fire or malfunction.

AC Charger: 100 to 240 V AC (for household AC outlets only)

Also, do not use commercially available voltage converters, as when traveling. May cause fire, electric shock or malfunction.



Prohibited

If thunder is audible, do not touch AC Charger.

May cause electric shock.



Do Not Use Wet Hands

Do not plug/unplug AC Charger or terminals with wet hands.

May cause electric shock or malfunction.



Compulsory

If dust accumulates on AC Charger plug, hold plug and unplug AC Charger from outlet and wipe with a dry cloth.

Failing to do so may cause fire.



Compulsory

When plugging AC Charger into outlet, keep conductive materials (pencil lead, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) away from AC Charger plug/Micro USB Cable terminals and plug AC Charger firmly into outlet.

Fire, burns or malfunction may result due to electric shock or shorting.



Compulsory

Supplied Micro USB Cable is only for charging handset. Do not use charging equipment of third-party products.

If any damage such as short-circuiting, fire or failure has occurred by using supplied Micro USB Cable for charging the third-party products, SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from use of this cable.



Disconnect
Power Source

When not using, hold AC Charger and unplug the power plug from outlet.

When power plug is left plugged in, electric shock, fire or malfunctions may result if foreign objects or liquids get on AC Charger plug, or if AC Charger plug is stepped on.



Disconnect
Power Source

If liquid (water, pet urine, etc.) gets into AC Charger, immediately hold plug and unplug AC Charger from outlet.

Failing to do so may cause electric shock, smoke emission or fire.

CAUTION



Prohibited

When AC Charger is connected to an outlet, do not pull on cord or otherwise subject AC Charger to strong shock.

May cause injury or malfunction.



Prohibited

Do not pull, bend with excessive force or twist Micro USB Cable. Do not damage or modify Micro USB Cable. Do not place objects on Micro USB Cable. Do not apply heat and keep Micro USB Cable away from heaters.

Damage to Micro USB Cable may cause electric shock, overheating or fire.



Prohibited

Do not use with damaged AC outlets, or with AC Charger loosely plugged in.



Prohibited

Be sure to do not touch plug with portions of your body such as your hands or fingers, etc.

That may cause burns, electric shocks, injuries or malfunctions.



Compulsory

When unplugging AC Charger from outlet, do not pull on the cord, hold AC Charger and unplug it.

The cord is damaged if it is pulled on, electric shock or fire etc. may result.



Compulsory

When AC Charger is connected to a power strip, do not exert excessive force on the exterior by stepping on it.

Fire or malfunctions may result.



Disconnect
Power Source

Firmly hold plug and unplug AC Charger from outlet before cleaning.

Failing to do so may cause electric shock.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

The contents printed herein were referenced from contents of, "Policies in Regards to Usage of Mobile Telephone Terminals, etc. for Preventing the Effects of Radiowaves on Electronic Medical Equipment," (Electromagnetic Compatibility Conference Japan [April 1997]), and "Policies for Preventing the Radiowaves Used by Various Devices from Exerting Effects upon Implanted Medical Devices," (Ministry of Internal Affairs and Communications [January 2013]).



Compulsory

Keep handset a minimum of 15 centimeters away from implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.

Radio waves may interfere with operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.



Compulsory

When using electronic medical equipment (other than implanted cardiac pacemakers/defibrillators) outside of medical institutions, consult device manufacturer about influence of radio waves.

Radio waves may interfere with operation of electronic medical equipment.



Compulsory

Handset radio waves may affect electronic medical equipment. Observe these guidelines in medical institutions:

- Do not bring handset into an operating room, ICU (Intensive Care Unit) or CCU (Coronary Care Unit).
 - Turn off handset in hospital wards. If set (alarm functions, etc.) to automatically power on, deactivate the setting then power off.
 - Turn off handset even in lobbies or areas where use is permitted if there is electronic medical equipment nearby.
 - Observe instructions of individual medical institutions and do not use or bring handset into prohibited areas.
-



Compulsory

Since persons who might have implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators may be in the vicinity, if you cannot ensure that a distance of 15 cm or more can be maintained in crowded conditions where you cannot freely move, switch handset in advance to a state (e.g.: Flight Mode) whereas it cannot be used to communicate, or either power off mobile phones. If set (alarm functions, etc.) to automatically power on, deactivate setting then power off.

Radio waves may interfere with operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.

General Use

- If a USIM Card, or a USIM Card equipped handset is stolen or lost, be sure to contact Customer Service (P.12-12), after contacting us, perform emergency usage suspension procedures.
- Handset accommodates software updates. Use the latest software.
- Handset employs radio waves. Signals may be disrupted even within service areas if you are indoors, underground, inside a tunnel or inside a vehicle. If you move to a location with poor signal strength, a call may be suddenly cut off.
- When using handset in public places, take care not to annoy other people around you. Use of handset is prohibited in some public places such as in theaters or on buses and trains.
- Handset is a wireless station under Japanese Radio Law. You may be requested to submit your handset for inspection based on this law.
- In the following cases, information contents saved in handset and SD Card may be altered, or lost. Be forewarned that SoftBank does not take responsibility for altered, or lost information contents. To minimize damages that are associated with altered, or lost information contents, take notes of important contents and save them.
 - Handset is used improperly.
 - Handset is exposed to static electricity or electrical noise.
 - Handset is turned off during operation.
 - Handset malfunctions or is sent for repairs.
- Connection speed may drop or connections may not be established depending on line traffic or connection environments.
- Do not use handset in or near places where explosives are handled. Handset use may lead to an explosion, or affect explosion devices.

- Handset USIM Card cannot be used with some mobile devices (including previously sold SoftBank models).
- Handset may get warm while it is being charged or used for a long time.
- Low temperature burns may result if handset is kept in contact with skin for a long time.
- AC Charger gets warm during charging.

Restrictions While Talking/Communicating

- Note that call and communication charges apply even while using or operating other functions simultaneously while talking/communicating.

Camera

- Use camera functions by observing conventional morals.
- When photographing important scenes, be sure to take a test shot, and show image to check that it is properly being photographed.
- Do not photograph in places where photographing is prohibited.
- Except for one's personal enjoyment, images that are shot using camera functions are to be used without having to obtain permission of the owner of copyright (photographer), which cannot be transferred.

Images

- Image data saved on SD Cards with handset may not be able to be used with other handsets.

Emergency Alert Messages

- At the time of purchase, Emergency Alert setting is set to "On."
- Handset beeps when received even in Manner Mode.
- It cannot be received while talking, communicating, or when signal is poor.
- Depending on your usage environments and conditions, information may be received relating to your present location and different areas, or it might not be received.
- If Emergency Alert setting is set to "On," standby time might be shorter.
- SoftBank does not take responsibility for damages generated in relation to this service, which includes accidents caused by information contents, reception timing, and reception or non-reception of information.

Handset & Hardware Care

- Note that if Battery level is left depleted, your saved details and settings will be lost or altered, thus handset will no longer be usable. Moreover, please be forewarned that SoftBank does not take responsibility for damages generated in regards to this.
- Avoid exposing handset to rain, snow or high humidity. Handset is not waterproof.
- Do not use handset in extreme temperatures, direct sunlight or humid or dusty places.
- Do not drop handset or subject it to excessive shock.
- To clean handset, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohols, thinners, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration and remove the print.

Portrait Rights

Portrait rights are the right for someone to be able to assert that they do not wish to have their photograph taken without permission by other people, nor to have taken photographs be disclosed, nor to be used without permission. Portrait rights may be personal rights that are acknowledged by everyone, and may be property rights that focus attention on the economic benefits (publicity rights) of celebrities, etc. Consequently, since the unauthorized taking, publicizing, and distribution of the photographs of other people and celebrities may constitute malfeasance, please endeavor to appropriately use camera functions.

Copyrights

The rights of works and the owners of copyrights are protected in accordance with the copyright laws for music, images, computer programs, databases, etc. Replication of these works can only be conducted for the purpose of personal or household usage. Beyond the objectives of the aforementioned, if distribution of these replications (including data format conversions), modifications, and transferral of replicates is conducted over networks without comprehension of the right holders, then one might be liable to claims for indemnification for damages and criminal punishment with regard to "copyright infringements," and "infringements of the author's moral rights." When handset is used for making replications, etc., beyond observing copyright laws, we request that you endeavor to engage in appropriate usage. In addition, since handset is equipped with camera functions, we wish to request that you endeavor to engage in usage appropriate in a manner likewise to the aforementioned.

- Do not personally engage in replicating or modifying, disjoining from the hardware, reverse assembling, reverse compiling, and reverse engineering of the software in its entirety or in portion which is equipped in handset, nor allow third parties to do so without permission of the separate copyright owners. Also do not engage in such usage.

- SoftBank, SoftBank's equivalent in Japanese and the SoftBank logo are registered trademarks or trademarks of SoftBank Mobile Corp. in Japan and other countries.
- S! Mail and S! Basic Pack are registered trademarks or trademarks of SoftBank Mobile Corp.
- ZTE, ZTE中興, and ZTE logo are trademarks or registered trademarks of ZTE Corporation in China/other countries. Copyright © 2014 ZTE Corporation. All rights reserved.
- Handset (in a portion of SoftBank mobile telephone) is equipped with the Internet browser NetFront Browse and mailer NetFront Messaging Client from ACCESS Co., Ltd.
Copyright© 2002-2014 ACCESS CO., LTD.
ACCESS and NetFront are trademarks or registered trademarks of ACCESS Co., Ltd. in Japan or other countries.
A module developed by Independent JPEG Group is included in a portion of the handset's software.

ACCESS NetFront®

- microSD and microSDHC logos are trademarks of SD-3C, LLC.



- Yahoo! is a registered trademark of Yahoo! Inc. in the U.S..
- The names of companies, products, and services use in this guide are registered trademarks or trademarks of the respective companies.

This mobile phone [301Z] meets the MIC's* technical regulation and international guidelines for exposure to radio waves.**

The MIC's technical regulation* for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP*.**

The highest SAR value for this mobile phone is 1.07 W/kg when tested for use at the ear, and 0.502 W/kg when worn on the body in the below manner.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the MIC's technical regulation.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear

Use this mobile phone maintaining a 1.0 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone. When used in this manner, this mobile phone is confirmed to comply with the MIC's technical regulation for exposure to radio waves and international guidelines for radio wave protection.

- * Ministry of Internal Affairs and Communications
- ** The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
- *** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

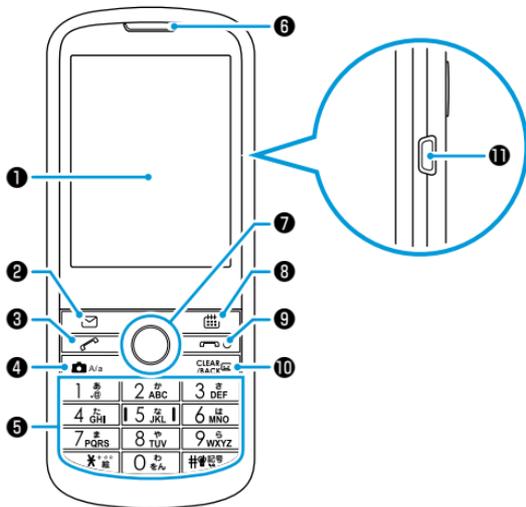
<http://www.arib-emf.org/index02.html> (Japanese)

各部の名称	1-2
本体	1-4
ディスプレイ	1-4
画面表示について	1-5
待ち受け	1-6
電池パックと充電器のお取り扱い	1-6
電池パックと充電器をご利用になる前に	1-6
電池パックを取り付ける／取り外す	1-8
充電器を利用して充電する	1-10
電源を入れる／切る	1-10
電源を入れる	1-10
電源を切る	1-10
マナーについて	1-11
マナーモード設定	1-11
マナーモード／ドライブモードを設定する	1-11
通常モードの設定内容を変更する	1-12
電波の送受信を停止する（機内モード）	1-12
暗証番号	1-13

各部の名称

1

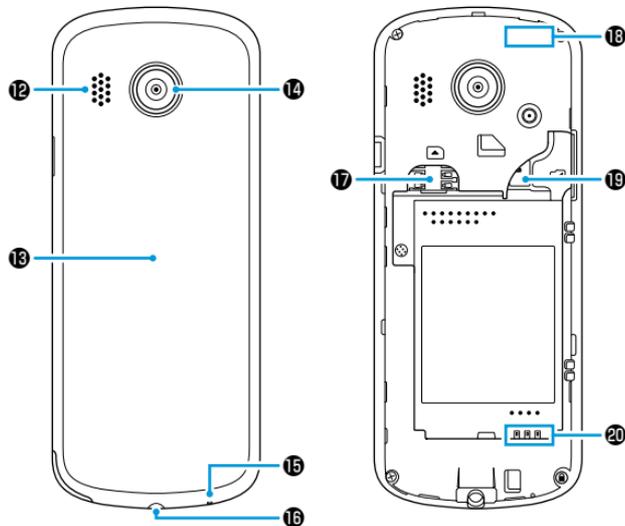
準備／基礎知識



- ① ディスプレイ
- ② メールキー
- ③ 発信キー
- ④ カメラキー
- ⑤ ダイヤルキー
- ⑥ 受話口
- ⑦ 上下左右キー／決定キー
- ⑧ カレンダーキー
- ⑨ 電源／通話終了キー
- ⑩ 削除／戻る／簡易留守録設定キー
- ⑪ 外部接続端子

イヤホン接続端子について

・本機では、3.5mmマイクロフォン付きイヤホン [ZELAD1] (オプション品) をご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、正常に動作しなかったり、故障の原因となります。



- ⑫ スピーカー
- ⑬ 電池カバー
- ⑭ カメラ
- ⑮ 送話口
- ⑯ イヤホン接続端子
- ⑰ USIMカードスロット
- ⑱ 通信用内蔵アンテナ
- ⑲ SDカードスロット
- ⑳ 電池端子

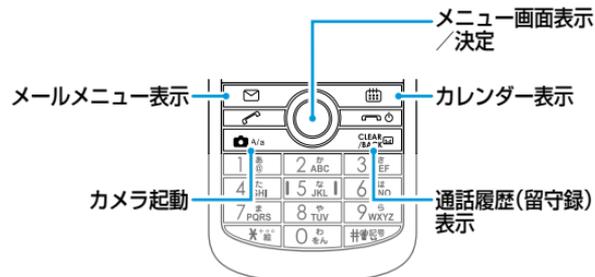
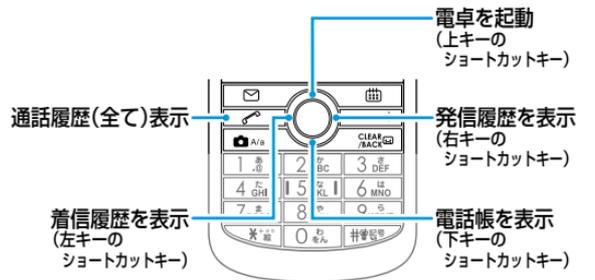
通信用内蔵アンテナについて

・感度に影響しますので、シールなどを貼ったり手でおおったりしないでください。

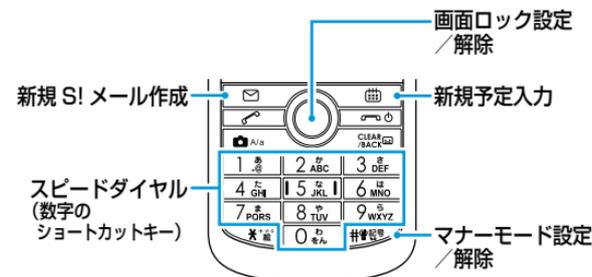
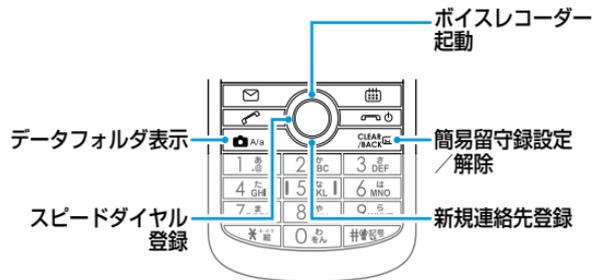
301Zでできること

待受画面でキーを1回押すだけで、メールの作成や通話履歴の表示などの各種機能を直接呼び出すことができます。ショートカットキーで呼び出せる機能は変更することができます。

■キーを押してできること



■キーを長押ししてできること



ディスプレイ

■通知アイコン、ステータスアイコン



①電波：電波の状態を表示します。



電波レベル



圏外



機内モード

②通知：さまざまな通知を表示します。



簡易留守録録音あり



未読メールあり



メールボックス空き容量不足



データ通信中 (HSPA)



データ通信有効



緊急速報メールあり



ソフトウェア更新中

③状態：本機の設定や状態を表示します。



アラーム設定中



イヤホン接続中



ドライブモード設定中



マナーモード設定中



SDカード取り付け中

④時計：現在の時刻を表示します。

⑤電池：電池の状態を表示します。(P.1-7)

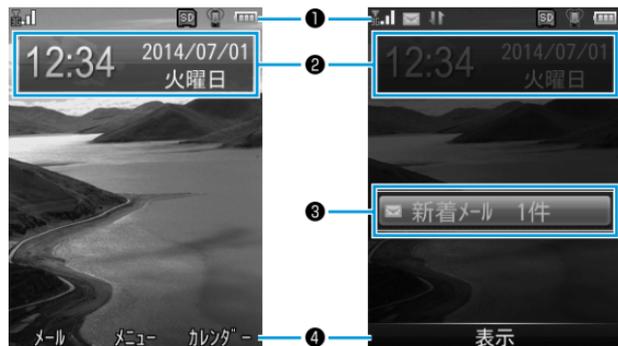


電池残量

画面表示について

画面には、いろいろなアイコンや情報が表示されます。

- ・待受画面では、ステータスを知らせるアイコン、日付や時刻、お知らせなどを表示しています。



①ステータス領域（ステータスバー）

電波、電池、本機の状態、および本機の設定や状態を表示しています。

②日時表示領域

時刻、日付、曜日を表示しています。

③インフォメーション領域

メールや不在着信などのインフォメーションを表示しています。

④ソフトキーメニュー領域

☐、●、☰のキーでできる操作を表示しています。

- ・メインメニューでは、ステータスを知らせるアイコン、さまざまな機能呼び出すアイコンを表示しています。



①ステータス領域（ステータスバー）

電波、電池、本機の状態、時刻、および本機の設定や状態を表示しています。

②機能呼び出し領域

アイコンと名称で機能を表示しています。

③ソフトキーメニュー領域

☐、●、☰のキーでできる操作を表示しています。

- ・ステータス領域に表示されるアイコンについては：(P.1-4)
- ・インフォメーション領域の詳細については：(P.1-6)

待ち受け

インフォメーションを確認する

不在着信やメール着信があると、インフォメーションが表示されます。

- ・インフォメーションには、お知らせの内容と件数が表示されます。



- 1 お知らせの内容を選択 → ● (表示)

電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

- ・充電時間とご利用可能時間の目安については：(P.12-8)

電池パックについて

- ・電池パックや本機、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- ・電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- ・電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックを充電してください。
- ・電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

充電を行うときは

- ・電池パック単体では充電できません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- ・電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- ・充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

電池パックの持ちについて

次のような場合は、電池パックの消耗が早いので、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- 極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき
- 本機や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
- 電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき
- 操作の途中で、待受画面に戻らずに放置しているとき
- 次のような機能を設定することによって、電池パックの消耗を軽減できます。
 - バックライト点灯時間を短くするには：(P.11-3)
 - キーボードバックライトの持続時間を短くする／バックライト On時間を設定するには：(P.11-3)
 - キー操作音をOffにするには：(P.1-12)

電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池アイコン	残量の目安
	0～10%
	10～40%
	40～70%
	70～100%

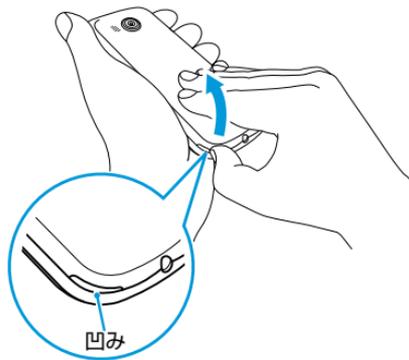
電池パックを取り付ける／取り外す

・必ず電源を切ってから、行ってください。

取り付ける

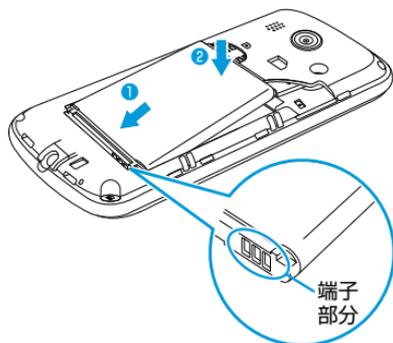
1 電池カバーを開く

- ・電池カバーの凹みに指をかけ持ち上げます。電池カバーと本体の間にすきまができたなら、周囲に沿って少しずつ取り外します。
- ・爪を傷つけないようご注意ください。



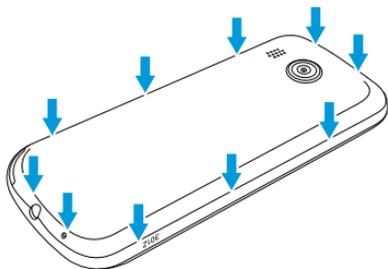
2 電池パックを取り付ける

- ・電池パックの端子部分と本体の電池端子が合うように①の方向に差し込んでから、②の方向にはめ込みます。



3 電池カバーを閉じる

- 電池カバーと本体の間にすきまができないよう「カチッ」と音がするまで押し込んで、完全に閉めてください。



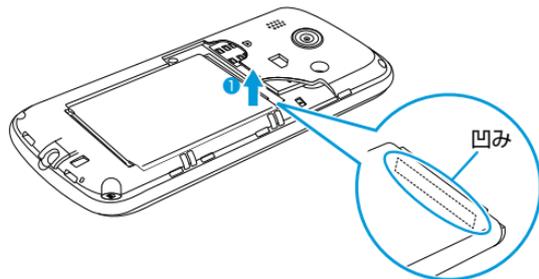
- 使用中に電池バックを取り外すと本機が正常に動作しなくなりますので、本機の電源が入っている状態では絶対に取り外さないでください。

取り外す

1 電池カバーを開く (P.1-8)

2 電池バックを取り外す

- 電池バックの端子と逆側の凹みに指をかけ、①の方向に持ち上げます。



3 電池カバーを閉じる (P.1-9)

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

充電器を利用して充電する

必ず付属の充電器を使用してください。

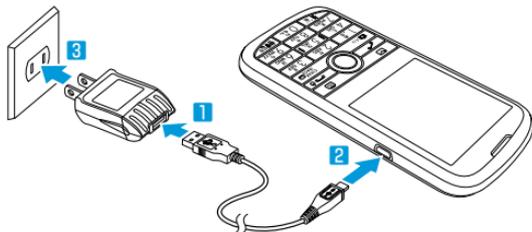
- 充電時間については：(P.12-8)

1 ACアダプタにmicroUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

2 本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

3 家庭用ACコンセントにACアダプタのプラグを差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコン  がアニメーション表示されます。



- 本機とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、本機をパソコンで充電できます。
- 本機の充電には付属のACアダプタ、microUSBケーブル以外のご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1  を長押し（3秒以上）

待受画面が表示されます。

- 電源を入れたときに、操作暗証番号を入力しないと本機を使用できないようにするには：(P.8-2)
- 電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにするには：(P.8-2)

ネットワーク自動調整について

お買い上げ後、待受画面表示中に初めていずれかのキーを押すと、確認画面が表示される場合があります。 (Yes)を押してネットワーク自動調整を行ってください。

- ネットワーク自動調整をすると、メールやMy SoftBankなどのネットワーク接続を伴うサービスが利用できます。

電源を切る

1  を長押し（3秒以上）

ディスプレイが消灯します。

- 電源を切った直後に電源を入れる場合は、数秒お待ちください。

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 電車やバスなどの公共機関では、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモード／ドライブモードを設定する

マナーモードを設定する

着信があったりアラームが動作したりしても音が鳴らないようにします。着信やアラームは、バイブレーション（振動）でお知らせします。

- 設定すると、「」が表示されます。

1 待受画面で を長押し

- 解除するには、設定中に待受画面で  を長押しします。

- マナーモードを設定しても、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 動画撮影時の開始／停止音
 - イヤホンからの着信音
 - 緊急速報メールの専用着信音

ドライブモードを設定する

着信があったりアラームが動作しても音が鳴らないようにします。着信やアラームは、画面表示でお知らせします。

- 設定すると、「」が表示されます。

1 待受画面で ●（メニュー）→「設定」→「マナーモード設定」→「ドライブモード」

- イヤホンを接続中は、着信音を確認できます。

通常モードの設定内容を変更する

着信音の音や音量を変えたり、効果音を鳴らしたりすることができます。

共通操作 待受画面で ●（メニュー）→「設定」→「マナーモード設定」→「通常モード」を選択 → （編集）

項目	説明
着信音	(P.2-4)
音量	着信時の音量を調整します。  「音声通話」／「メール」／「送信通知」／「不在着信通知」／「受話音量」／「アラーム音量」 → 音量を選択 → ●（OK）
パイプ	(P.2-4)
効果音	効果音を鳴らすかどうか設定します。  「キー操作音」／「警告音」→「On」／「Off」

電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。機内モードでは、電話の発着信、メールの送受信、My SoftBankなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。

設定すると、電波状態表示が「」に変わります。

1 待受画面で ●（メニュー）→「設定」→「接続設定」

2 「機内モード」→「On」

・解除するには、「Off」を選択します。

本機のご使用にあたっては、次の暗証番号が必要になります。

操作暗証番号	パスワードキーロックの設定や解除など携帯電話機本体の操作に必要な暗証番号です。(お買い上げ時は、「0000」に設定されています)
契約時の暗証番号	メールアドレス設定などのメール関連設定、迷惑メール設定、お客さま申し入れによる緊急中断の際に必要な、契約時の暗証番号です。暗証番号を忘れた場合は、契約住所への郵送通知のみとなります。

- ・操作暗証番号や契約時の暗証番号はお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(P.12-12)までご連絡ください。
- ・操作暗証番号や契約時の暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、契約時の暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先 (P.12-12)までご連絡ください。
- ・以前、携帯電話から契約時の暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。
- ・操作暗証番号の設定や変更は本機で行えます。(P.8-2)

共通操作	2-2
ショートカットキー	2-3
ショートカットキーで機能呼び出す	2-3
ショートカットキーを登録する	2-3
着信時の動作	2-4
着信音の変更	2-4
パイプレータの設定	2-4
文字入力について	2-4
文字の入力画面	2-4
文字入力モード	2-5
ダイヤルキーの割り当て	2-5
文字の入力方法	2-6
漢字／ひらがな／カタカナを入力する	2-6
小文字（っ、ッなど）を入力する	2-7
だく点（ゝ）／半だく点（ゞ）を入力する	2-7
英数字を入力する	2-7
記号／絵文字／顔文字などを入力する	2-7
スペースを入力する	2-8
改行する	2-8
文字の編集	2-8
入力した文字を消去／修正する	2-8
コピー／切り取り／貼り付けをする	2-9
ユーザー辞書	2-9
ユーザー辞書に登録する	2-9
電話帳登録	2-10
電話帳の利用	2-10
グループ	2-13
電話帳バックアップ	2-14

項目選択と元画面に戻る



- 1 項目を選択 → ● (XXXX)
選択した項目の画面が表示されます。

- 2 
元の画面に戻ります。

待受画面に戻る

- 1 任意の画面で 
待受画面が表示されます。

クイックオペレーション

ダイヤルキーでメニューを選択できます。

■メインメニュー

メインメニューはアイコンと同じ配置の数字で選択できます。

例) カメラを選択するには、**[5]** を押す



標準のメインメニュー



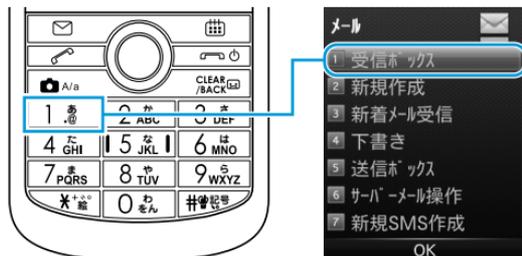
リストのメインメニュー

ショートカットキー

■項目やメニュー

項目やメニューの左に番号がある場合は、番号と同じ数字で選択できます。

例) メール画面で受信ボックスを選択するには、**1** を押す



よく使う機能をショートカットに登録すると、少ない操作でその機能呼び出せます。

- ・最大5件登録できます。
- ・あらかじめ登録されている機能は変更できます。

ショートカットキーで機能呼び出す

- 1 待受画面でショートカットキーに割り当てたキーを押す（ダイヤルキーの場合は長押し）
機能が実行されます。

ショートカットキーを登録する

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「本体設定」 → 「ショートカットキー」
- 3 設定するキーを選択 → 項目を選択

設定するキー	初期値
上キーを設定	電卓
下キーを設定	電話帳
左キーを設定	着信履歴
右キーを設定	発信履歴
数字キーを長押し	スピードダイヤル

着信時の動作

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「マナーモード設定」 → 「通常モード」を選択

2

共通操作

着信音の変更

着信音を既定の音から選択します。

- 1  (編集)
- 2 「着信音」 → 「音声通話」 / 「メール」 / 「送信通知」 / 「不在着信通知」 → 着信音を選択 → ● (設定)

バイブレータの設定

着信時にバイブレーション (振動) で知らせるかどうか設定します。

- 1  (編集)
- 2 「バイブ」 → 「着信音のみ」 / 「バイブのみ」 / 「バイブと着信音」

文字入力について

文字の入力画面

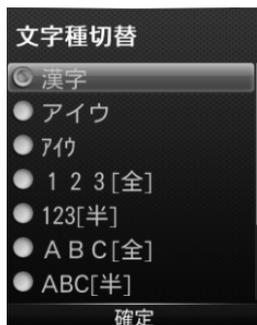
例) S!メールの本文入力欄



文字入力モード

1 (文字種)

文字種 (文字入力モード) が表示されます。



2 文字種を選択

文字種	説明	文字種	説明
漢字	漢字・ひらがな	ABC [全]	全角英数字
アイウ	全角カタカナ	ABC [半]	半角英数字
アウ	半角カタカナ	記号	全角記号・半角記号
1 2 3 [全]	全角数字	絵文字	絵文字
123 [半]	半角数字	顔文字	顔文字

ダイヤルキーの割り当て

文字入力にはダイヤルキーを利用します。
ダイヤルキーには複数の文字が割り当てられており、複数回押すことで文字を切り替えます。(P.2-6)



文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

2

共通操作

漢字を入力する

漢字モードで「鈴木」を入力する方法を例に説明します。

1 文字入力画面で「すすき」と入力

・次のように入力します。

「す」： (3回)

「ず」：* → (3回) → (1回)

「き」： (2回)

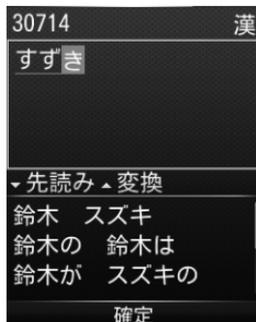
※同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、 でカーソルを移動させます。

2 で先読み候補リストに入る

・ で変換候補リストを表示できます。

・変換する前に文字を追加／修正したい場合は、 を押して候補リストから出ます。

・漢字・ひらがな変換時に表示される候補には、先読み候補、変換候補があります。(P.2-8)



3 で「鈴木」を選択 → (確定)

ひらがなを入力する

漢字モードで「すすき」を入力する方法を例に説明します。

1 文字入力画面で「すすき」と入力

・次のように入力します。

「す」： (3回)

「ず」：* → (3回) → (1回)

「き」： (2回)

※同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、 でカーソルを移動させます。

2 (確定)

カタカナを入力する

カタカナモードで「スズキ」を入力する方法を例に説明します。

1 文字入力画面で「スズキ」と入力

・次のように入力します。

「ス」： (3回)

「ズ」：* → (3回) → (1回)

「キ」： (2回)

・1文字ずつ確定されます。

※同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、 でカーソルを移動させます。

2 (確定)

小文字（っ、ッなど）を入力する

- 1 小文字にする文字を入力 → 
・キーを繰り返し押しても、大文字に続いて小文字も表示されません。

だく点（ゝ）／半だく点（゜）を入力する

- 1 濁点／半濁点を付ける文字を入力 → （半濁点の場合は、→
）

英数字を入力する

英数字モードで「SoftBank」を入力する方法を例に説明します。

- 1 文字入力画面で「SoftBank」と入力
・次のように入力します。
「S」：  (4回) → 
「o」：  (3回)
「f」：  (3回)
「t」：  (1回)
「B」：  (2回) → 
「a」： * →  (1回)
「n」：  (2回)
「k」：  (2回)
・英数字モードでキーを長押しすると簡単に数字が入力できます。
※同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、 でカーソルを移動させます。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号を入力する

- 1 
記号のメニューが表示されます。
・メニューでは、履歴（以前入力した記号）、全記号（全角の記号）、半記号（半角の記号）を （切替）で切り替えます。
- 2  で記号を選択
- 3 ●（確定）

絵文字を入力する

- 1 
絵文字のメニューが表示されます。
・メニューでは、履歴（以前入力した絵文字）、共通絵（全社共通の絵文字）、全絵（すべての絵文字）を （切替）で切り替えます。
- 2  で絵文字を選択
- 3 ●（確定）

顔文字を入力する

- 1 （文字種）→「顔文字」
顔文字のメニューが表示されます。
・メニューでは、履歴（以前入力した顔文字）、顔文字を （切替）で切り替えます。
- 2  で顔文字を選択
- 3 ●（確定）

スペースを入力する

■文末に全角スペースを入れる

  → 全記号まで  (切替) → スペースで  (確定)

■文末に半角スペースを入れる

■文中に全角スペースを入れる

  → 全記号まで  (切替) → スペースで  (確定)

■文中に半角スペースを入れる

  → 半記号まで  (切替) → スペースで  (確定)

改行する

■文末に改行を入れる

■文中に改行を入れる (漢字入力モードのみ)

  (9回)

文字の変換について

候補リストが文字の入力中に表示されます。

- ・単語入力を繰り返すことにより、候補リストの順番は変化します。

切り替えかた	候補例「わ」の場合	説明
◎ (先読み候補)	「私」「わたし」など	入力した文字で始まると予測される候補
◎ (変換候補)	「和」「輪」など	入力した文字と完全一致した候補リスト

文字の編集

入力した文字を消去／修正する

1 文中の文字を消去する場合

消去したい文字の前にカーソルを移動 →  カーソルの後ろの1文字を消去します。

- ・ を長押しすると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。

文末から文字を消去する場合

カーソルが文末にある状態でカーソルの前の1文字を消去します。

- ・ を長押しすると、カーソルから前の文字をすべて消去します。

2 正しい文字を入力

ユーザー辞書に登録すると、変換候補に表示されるようになります。

ユーザー辞書に登録する

- 1 文字入力画面で  (メニュー) → 「辞書登録」
- 2 選択したい文字列の先頭 (最後) へカーソルを移動 → ● (開始)
→ 文字列の最後 (先頭) へカーソルを移動 → ● (終了)
- 3 単語を入力 → ● (確定)
- 4 読みを入力 → ● (確定)

コピー／切り取り／貼り付けをする

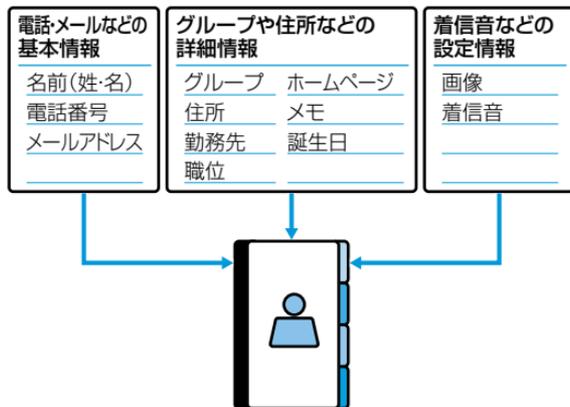
コピーまたは切り取りによって文字列を記憶し、他の場所に貼り付けることができます。

- 1 文字入力中に  (メニュー) → 「コピー」／「切り取り」
- 2 選択したい文字列の先頭 (最後) へカーソルを移動 → ● (開始)
→ 文字列の最後 (先頭) へカーソルを移動 → ● (終了)
- 3 貼り付ける位置へカーソルを移動 →  (メニュー) → 「貼り付け」

電話帳の利用

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、メールアドレスを登録します。

電話帳に登録できる項目



電話帳を利用したおもな機能やサービス

スピードダイヤル

電話帳に登録した相手に簡単な操作で電話がかけられます。

グループ設定

連絡先をグループごとに管理できます。

電話帳バックアップ

SDカードに電話帳を保存したり、読み込んだりできます。

着信拒否

電話帳に登録されていない電話番号の着信を拒否できます。

電話帳に登録する

電話帳に、名前や電話番号やメールアドレスなどを登録します。

- 1 を長押し
- 2 姓を入力 → 名を入力



- 3 項目を選択

項目	操作・補足
姓	姓を入力
名	名を入力
ヨミ：姓	姓を入力すると自動的にヨミガナが登録されます。 変更する場合は、姓のヨミガナを修正
ヨミ：名	名を入力すると自動的にヨミガナが登録されます。 変更する場合は、名のヨミガナを修正
電話番号	5件まで登録できます。 電話番号を入力 → アイコンを選択 → (OK)

メールアドレス	5件まで登録できます。 📧 メールアドレスを入力 → アイコンを選択 → ● (OK)
グループ	📧 グループを選択 → ● (OK) ・あらかじめグループを登録しておきます。
住所	郵便番号、国、都道府県、市町村、番地、情報を登録します。 📧 住所を入力 → [📧] (保存) → アイコンを選択 → ● (OK)
勤務先	📧 勤務先を入力
職位	📧 職位を入力
ホームページ	📧 ホームページを入力 → アイコンを選択 → ● (OK)
メモ	📧 メモを入力
誕生日	📧 誕生日を入力
画像	📧 「初期画像」 → ● (OK) → 画像を選択 → ● (設定) 📧 「その他画像」 → 画像があるフォルダを表示 → 画像を選択 → ● (設定)
着信音	📧 着信音を選択 → ● (OK)

4 必要事項の入力が終了したら、[📧] (保存)

・待受画面で ● (メニュー) → 「電話機能」 → 「新規登録」からでも新規登録できます。

他の機能から電話帳に登録する

表示している電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できません。

例) 着信履歴の電話番号を登録する場合

1 ○ → 電話番号を選択 → [📧] (メニュー) → 「電話帳に登録」

2 新規で電話帳登録する場合

「新規登録」 → 登録の操作を行う (P.2-10)

電話番号を追加登録する場合

「追加登録」 → 追加登録する連絡先を選択 → ● (OK) → 登録の操作を行う (P.2-10)

3 必要事項の入力が終了したら、[📧] (保存)

電話帳から電話をかける

- 1 
- 2  で相手を検索
 - ・相手のヨミガナの一部を入力して検索することもできます。
- 3 相手を選択 → ● (OK)
- 4 電話番号を選択 → ● (発信)

・ヨミガナを入力して検索したときに、該当する連絡先がない場合は、条件に最も近い連絡先が表示される場合があります。

電話帳から利用できる機能

■ 連絡先一覧画面で利用できる機能

  (→ 各検索の操作) → 連絡先を選択 →  (メニュー) → 項目を選択

発信	 電話番号を選択 → ● (OK)
新規登録	電話帳を新規登録します。(P.2-10)
メール送信	SMSやS!メールを送信します。  「SMS」 → 電話番号を選択 → 以降はSMSの作成手順 (P.4-9)  「S!メール」 → 電話番号またはメールアドレスを選択 → 以降はS!メールの作成手順 (P.4-6)
連絡先を送信	SMSやS!メールで連絡先の情報を送信します。  「SMSで送信」 → 項目にチェック →  (完了) → 以降はSMSの作成手順 (P.4-9)  「S!メールで送信」 → 項目にチェック →  (完了) → 以降はS!メールの作成手順 (P.4-6)
編集	 連絡先を編集 (P.2-10) →  (保存)
削除	 「1件選択」 → 「はい」  「複数選択」 → 連絡先にチェック →  (完了) → 「はい」  「全て」 → 「はい」
詳細設定	スピードダイヤルや電話帳の登録の情報を確認します。  「スピードダイヤル情報」  「メモリ情報」

■ 連絡先選択時の詳細画面で利用できる機能

☞ Ⓞ (→ 各検索の操作) → 連絡先を選択 → ☞ (メニュー) → 項目を選択

編集※1	☞ 電話帳を編集 (P.2-10) → ☞ (保存)
メール送信※2	SMSやS!メールを送信します。 ☞ 「SMS」 → 電話番号を選択 → 以降はSMSの作成手順 (P.4-9) ☞ 「S!メール」 → 電話番号またはメールアドレスを選択 → 以降はS!メールの作成手順 (P.4-6)
連絡先を送信	SMSやS!メールで連絡先の情報を送信します。 ☞ 「SMSで送信」 → 項目にチェック → ☞ (完了) → 以降はSMSの作成手順 (P.4-9) ☞ 「S!メールで送信」 → 項目にチェック → ☞ (完了) → 以降はS!メールの作成手順 (P.4-6)
スピードダイヤルを追加※2	☞ 「<データなし>」の先頭に表示されている番号を選択 → ● (登録) ・「<データなし>」がないときは、上書きして登録する番号を選択 → ● (上書き) → 「はい」と操作します。
削除	☞ 「はい」

※1 電話番号、メールアドレスのみ

※2 電話番号のみ

グループ

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「電話機能」 → 「グループ設定」

グループを登録する

電話帳のグループ名を変更したり、グループごとに着信音や画像などを設定できます。

1 ☞ (メニュー) → 「新規グループ作成」 → 項目を選択 → ● (編集) → 内容を設定

2 必要事項の入力が終了したら、☞ (保存)

■ 登録したグループの設定を編集する

☞ グループを選択 → ☞ (メニュー) → 「グループ編集」 → 項目を選択 → ● (編集) → 内容を設定 → 必要事項の入力が終了したら、☞ (保存)

■ 登録したグループを削除する

☞ グループを選択 → ☞ (メニュー) → 「グループを削除」 → 「はい」

・個別の相手に着信音などを設定している場合は、個別の設定が優先されます。

グループを利用する

登録したグループから連絡先を検索します。

1 グループを選択 → ● (OK)
グループに所属している連絡先が表示されます。

電話帳バックアップ

電話帳をバックアップする

電話帳の連絡先をSDカードにバックアップします。

・SDカードをあらかじめ挿入しておいてください。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「電話機能」
- 2 「電話帳バックアップ」 → 「保存」
- 3 操作暗証番号を入力 → 「はい」

電話帳から連絡先を復帰する

電話帳の連絡先をバックアップファイルで置き換えます。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「電話機能」
- 2 「電話帳バックアップ」 → 「読み込み」
- 3 操作暗証番号を入力 → バックアップファイルを選択 → ● (OK) → 「はい」

電話のかけかた.....	3-2
電話番号を入力して電話をかける	3-2
通話履歴から選択して電話をかける（リダイヤル）.....	3-3
ダイヤルキーに登録して電話をかける（スピードダイヤル）.....	3-3
国際電話をかける	3-4
電話の受けかた.....	3-4
電話にでられないときの操作	3-5
着信を保留にする	3-5
伝言メッセージを録音する（簡易留守録）.....	3-5
着信を拒否する	3-6
迷惑電話の防止.....	3-6
電話番号を指定して着信を拒否する	3-6
指定した電話番号からの着信のみ許可する.....	3-7
着信を拒否する.....	3-8
通知不可電話からの着信、公衆電話、非通知での着信を拒否する	3-8
電話帳に未登録の電話番号からの着信を拒否する	3-8
通話中の操作	3-8
通話履歴を確認する.....	3-9
履歴を表示する	3-9
履歴の詳細を確認する.....	3-9
履歴表示中に利用できる機能.....	3-10
通話時間の確認.....	3-10
オーナー情報の確認と登録	3-11
オーナー情報を確認する.....	3-11
オーナー情報を登録する.....	3-11
オーナー情報で利用できる機能.....	3-11
緊急通報	3-12
オプションサービスの利用	3-12
オプションサービスの概要.....	3-12
発着信規制サービス	3-13
発信者番号通知サービス.....	3-14

電話のかけかた

本機では、3つの方法で音声電話をかけられます。

- 電話番号を入力する
- 通話履歴から選択する
- 電話帳から選択する

音声電話をかけるときは、電波状態や電池残量など通話が可能なことを画面で確認してください。

3

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力

- 同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

2 電話番号を確認 →  / ● (発信)

電話がかかります。

- 相手の声の大きさを調節するには：●
- 呼び出し中に発信を終了するには： (キャンセル)

3 通話が終了 → 

「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。その後、待受画面が表示されます。

■電話番号の入力を間違えたとき

● で消したい数字の後ろにカーソルを移動して  を押します。次に正しい数字を入力します。 を長押しすると、カーソルより左にある数字がすべて消えます。

発信者番号通知を使う

お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりできます。

● 発信者番号通知サービスで設定する (P.3-14)

● 発信ごとに通知 / 非通知を設定する

 通知：186+電話番号 →  / ● (発信)

 非通知：184+電話番号 →  / ● (発信)

こんなこともできます！

- 入力した電話番号を電話帳に登録する (P.2-11)
- 通話履歴から電話をかける (P.3-3)
- 電話帳から電話をかける (P.2-12)
- 通話中に利用できる機能 (P.3-8)



通話履歴から選択して電話をかける (リダイヤル)

- 1 待受画面で 
通話履歴の「全て」タブが表示されます。(P.3-9)
- 2  で相手の電話番号または名前を選択
・電話帳に名前と電話番号が登録されている場合は、名前が表示されます。
- 3 
電話がかかります。
・相手の声の大きさを調節するには：
- 4 通話が終了 → 
「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。

電話番号を確認してから発信する

通話履歴で名前を選択したとき、電話番号を確認してから発信できます。

- 1 名前を選択 → ● (表示) → ● (発信)

ダイヤルキーに登録して電話をかける (スピードダイヤル)

よく使う電話番号をダイヤルキーに登録できます。

スピードダイヤルに登録する

電話帳に登録されている電話番号を最大9件まで登録できます。

- 1 待受画面で  を長押し
スピードダイヤル画面が表示されます。
- 2 番号を選択
電話帳が表示されます。
・「<データなし>」の先頭に表示されている番号を選択します。
・先頭の番号はダイヤルキーの番号に対応しています。
- 3 電話帳から登録する電話番号または名前を選択 → ● (OK)
- 4 電話番号を確認 → ● (OK)
選択した番号に名前が表示されます。

スピードダイヤルで電話をかける

- 1 待受画面で  ~  を長押し
番号に対応した電話番号に電話がかかります。

スピードダイヤルの登録を解除する

- 1 待受画面で  を長押し
スピードダイヤル画面が表示されます。
- 2  で番号を選択 →  (メニュー) → 「削除」 → 「はい」
・ダイヤルキーで番号を選択しないでください。発信します。

国際電話をかける

日本国内から海外に音声電話をかけられます。

- 1 を2回 (+) + 国番号 + 電話番号 → / ● (発信)
 - ・国際電話の料金など詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) でご案内しています。

・国際コード設定を行わず、着信履歴から相手先に折り返し発信した場合、自動的に国際コードが付加されますので、ご注意ください。

国際コードを確認する

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「国際コード設定」

国際コードを変更する

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「国際コード設定」

- 2 で番号を削除し、新しいコードを設定 → ● (保存)

電話がかかってくると着信音が鳴ります。

相手が電話番号を通知してきたときは、画面に電話番号または電話帳に登録されている名前が表示されます。

- ・非通知の場合は「非通知番号」と表示されます。

- 1 / ● (応答) → 相手と話す
 - ・相手の声の大きさを調節するには：●
 - ・通話中にできる機能を利用するには：(P.3-8)

- 2 通話が終了 →

「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。



着信時に利用できる機能

着信中に以下の機能が利用できます。

着信音を消す*	、、、、、
着信を保留する	(メニュー) → 「保留」
簡易留守録で応答する	(メニュー) → 「簡易留守録」
着信を拒否する	(拒否)

※エコーキーアンサー (P.11-2) がOnのときは、電話を受けます。

- ・着信音を消す設定は、通話が終了すると解除されます。

着信を保留にする

着信した電話を通話状態にしたうえで保留にできます。

- 1  (メニュー) → 「保留」
相手には保留音が流れます。
 - ・ 保留中の電話に出るには： (メニュー) → 「保留解除」

伝言メッセージを録音する（簡易留守録）

相手の伝言メッセージを録音できます。1件につき60秒まで、最大20件まで保存できます。

- 1  (メニュー) → 「簡易留守録」
相手に応答メッセージが流れます。その後、録音状態になります。
 - ・ 応答メッセージの途中で通話が終了したときは、通話履歴の「不在着信」に履歴が残ります。
 - ・ 録音状態のときに通話が終了したときは、通話履歴の「留守録」に履歴が残ります。

- ・ 自動的に簡易留守録になるように設定できます。(P.3-5)
- ・ 録音件数がいっぱいの場合、古いメッセージから削除されます。

簡易留守録を再生する

- 1 画面に「×件 簡易留守録」が表示されているとき
「×件 簡易留守録」を選択 → ● (表示)
画面に「×件 簡易留守録」が表示されていないとき
待受画面で  通話履歴の「留守録」が表示されます。
- 2 再生したい電話番号または名前を選択 → ● (表示)
履歴詳細が表示されます。
- 3  (再生)

簡易留守録をあらかじめ設定する

着信があると、設定した時間で自動的に応答メッセージが流れ、伝言メッセージを録音できます。

- ・ 電源が切れているとき、機内モード設定中や電波が届かない状態のときは、簡易留守録を使用できません。

■簡易留守録を設定／解除する

- 1  を長押し
 - ・ 解除するには：もう一度  を長押し
 - ・ 簡易留守録が録音されると、画面に簡易留守録の件数が表示されます。
 - ・ 簡易留守録を表示するには：待受画面で  → ● (表示)

■応答メッセージが流れるまでの時間を変更する

お買い上げ時は、18秒に設定されています。
応答メッセージが流れるまでの時間を1～30秒の間で設定できます。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「簡易留守録」 → 「応答時間」
- 2 時間を設定 → ● (OK)

着信を拒否する

着信を拒否できます。拒否した着信は、不在着信として通話履歴に記録されます。

1 (拒否)

着信が拒否され通話が終了します。

「不在着信」と件数が画面に表示されます。

- ・不在着信の内容を確認するには：● (表示)

あらかじめ指定した電話番号や電話帳に登録されていない相手などからの着信を拒否できます。

本機では、以下の電話番号に対して着信を制限できます。

- ・指定した電話番号
- ・通知不可の電話番号 (P.3-8)
- ・公衆電話 (P.3-8)
- ・非通知設定の電話番号 (P.3-8)
- ・電話帳に未登録の電話番号 (P.3-8)

また、指定した電話番号からのみ着信するように設定できます。(P.3-7)

電話番号を指定して着信を拒否する

着信を制限したい電話番号を拒否番号リストに登録する操作を説明します。

拒否番号リストには、50件まで電話番号を登録できます。

拒否番号リストを作成する

2つの方法で拒否番号リストに電話番号を登録できます。

- ・メニューから拒否番号リストを選択して電話番号を入力する
- ・通話履歴から選択する

■メニューから拒否番号リストを選択して電話番号を入力する

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発着信規制」
発着信規制メニューが表示されます。
- 2 「着信拒否番号」 → 「指定番号」 → 「拒否番号リスト」
- 3 ○で「未登録」を選択 → ● (編集)
 - ・任意の場所を選択できます。
- 4 電話番号を入力 → ● (保存)
「設定しました」のメッセージが表示されます。その後、拒否番号リストが表示されます。
 - ・複数の電話番号を指定するときは、3と4を繰り返します。

■通話履歴から選択する

- 1 待受画面で  /  / 
 : 「全て」タブが表示されます。
 : 「着信履歴」タブが表示されます。
 : 「発信履歴」タブが表示されます。
 : 「留守録」タブが表示されます。
・「不在着信」タブを表示するには、いずれかのタブを表示してから  でタブを移動します。
- 2  で電話番号または名前を選択
・タブを移動するには：
・名前の電話番号を確認するには： (表示)
・名前の電話番号を確認した後は、 で戻ります。
- 3  (メニュー) → 「着信拒否番号に追加」
拒否番号リストの「未登録」の場所に上から順に電話番号が追加されます。

拒否番号リストから電話番号を削除する

- 1 待受画面で  (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発信規制」
- 2 「着信拒否番号」 → 「指定番号」 → 「拒否番号リスト」
- 3  で削除する番号を選択 →  (メニュー) → 「クリア」
電話番号が削除され「未登録」になります。

拒否番号リストによる着信拒否を有効／無効にする

拒否番号リストによる着信を拒否する／しないを設定します。

- 1 待受画面で  (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発信規制」
- 2 「着信拒否番号」 → 「指定番号」 → 「設定」
- 3 「拒否する」 / 「拒否しない」

指定した電話番号からの着信のみ許可する

全着信規制 (P.3-13) と拒否番号リストによる着信拒否の設定を組み合わせます。

- ・全着信規制を設定するには、ご契約時の暗証番号が必要です。

- 1 待受画面で  (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発信規制」
発信規制メニューが表示されます。
- 2 「全着信規制」 → 「有効化」
- 3 ご契約時の暗証番号を入力 →  (OK)
- 4 拒否番号リストを作成
・「拒否番号リストを作成する」 (P.3-6)
- 5 待受画面で  (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発信規制」
- 6 「着信拒否番号」 → 「指定番号」
指定番号メニューが表示されます。
- 7 「設定」 → 「拒否しない」

着信を拒否する

通知不可電話からの着信、公衆電話、非通知での着信、電話帳に未登録の電話番号からの着信を拒否できます。

- ・指定した電話番号からの着信を拒否する (P.3-6)

共通操作 待受画面で (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発着信規制」 → 「着信拒否番号」

3

電話

通知不可電話からの着信、公衆電話、非通知での着信を拒否する

1 「通知不可番号」 / 「公衆電話」 / 「非通知番号」

2 「拒否する」

電話帳に未登録の電話番号からの着信を拒否する

1 「未登録番号」

2 「拒否する」

通話中の操作

通話中に やソフトキーを押すと、次の操作ができます。

受話音量を調節する	<ul style="list-style-type: none">・10段階で調節できます。通話音量を下げ続けると相手の声が聞こえなくなります。・変更した通話音量は、通話終了後や電源を切っても保持されます。
通話を終了する	(メニュー) → 「通話を終了」
通話を録音する	(メニュー) → 「録音」 <ul style="list-style-type: none">・録音した通話は、待受画面で (メニュー) → 「データフォルダ」 → 「オーディオ」 → 「通話録音フォルダ」 から再生できます。
DTMFを切り替える	(メニュー) → 「DTMF Off / DTMF On」 <ul style="list-style-type: none">・DTMFをOnに設定すると、ダイヤルキーを押したときにトーン信号が発信されます。
メール画面を開く	(メニュー) → 「S!メール」
番号を入力する	(メニュー) → 「番号を入力」 <ul style="list-style-type: none">・番号を入力して、電話帳に登録したり、メールの宛先にしたりできます。
電話帳画面を開く	(メニュー) → 「電話帳」 <ul style="list-style-type: none">・発信はできません。
ハンズフリーで通話する	(ハンズフリー) <ul style="list-style-type: none">・スピーカーから相手の声が聞こえるようになります。・録音中は、 (メニュー) → 「ハンズフリー」 から操作できます。
通話をミュートにする	(ミュート) <ul style="list-style-type: none">・こちらの声が相手に聞こえなくなります。

通話履歴を確認する

発信、不在着信、簡易留守録の履歴を確認できます。また、履歴から発信したり電話帳に登録したりできます。通話履歴は、「全て」「不在着信」「着信履歴」「発信履歴」および「留守録」の5つのタブで表示されます。

履歴を表示する

1 通話履歴の場合

待受画面で 

発信履歴の場合

待受画面で 

着信履歴の場合

待受画面で 

簡易留守録の場合

待受画面で 

履歴一覧が表示されます。

- 履歴の種類は、 で切り替えられます。



- 新しい履歴から順に一覧表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
- 同じ電話番号は1つの履歴にまとめられます。複数の履歴があるときは、電話番号や名前の後ろに履歴数が表示されます。
- 最大件数を越えたときは、古い履歴から削除されます。
- 履歴は、待受画面で  (メニュー) → 「電話機能」 → 「通話履歴」でも表示できます。

■アイコンが示す状況

 発信

 不在着信

 着信

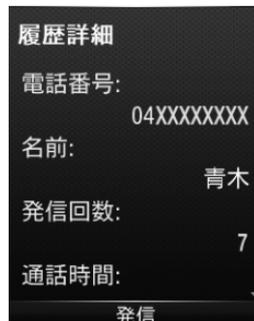
 簡易留守録

履歴の詳細を確認する

1 履歴一覧を表示する

2 電話番号または名前を選択 → ● (表示)

電話番号、名前、通話回数、各通話の通話時刻（年月日と時刻）が表示されます。



- 電話帳に名前が登録されていない場合は、名前は空欄になります。
- 発信および着信履歴では、各通話の通話時刻に加えて通話時間が表示されます。

履歴表示中に利用できる機能

各種履歴を表示中に  (メニュー) を押すと、次の操作ができます。

発信	電話番号に発信します。
電話帳に登録	電話帳に登録します。  「新規登録」 → 必要な情報を入力 →  (保存)  「追加登録」 → 必要な情報を入力 →  (保存)
メール送信	メールを作成します。  「SMS」 → 必要な情報を入力 →  (送信)  「S!メール」 → 必要な情報を入力 →  (送信)
着信拒否番号に追加	拒否番号リストに電話番号を追加します。
削除	履歴を削除します。  「1件削除」 → 「はい」  「複数選択削除」 → 削除したい履歴にチェック →  (完了) → 「はい」
通話時間	通話時間を確認します。(P.3-10)
データフロー情報	送信/受信のデータ容量を確認します。 また、送信/受信のデータ容量を削除します。 ・  (削除) → 「はい」

直前(前回)の通話時間や累積の通話時間を確認できます。

- 表示される時間は目安です。
- 着信中や呼び出し中の時間は通話時間に含まれません。保留中は通話時間に含まれます。

1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「通話時間」
 通話時間画面に以下の時間が表示されます。

- 最終通話時間
- 発信時間
- 着信時間
- 全通話時間

2 ● (OK)
 通話時間画面が閉じて、通話設定メニューが表示されます。

オーナー情報の確認と登録

自分の電話番号を確認できます。また、メールアドレス、住所などの情報をオーナー情報として登録できます。

オーナー情報を確認する

- 1 待受画面で ● (メニュー) →  (電話)
オーナー情報画面が表示されます。
 - ・お買い上げ時は、電話番号のみ登録されています。

オーナー情報を登録する

必要に応じて、名前やメールアドレスなどの情報を登録できます。

- 1 待受画面で ● (メニュー) →  (電話)
オーナー情報画面が表示されます。
- 2 項目を選択 → ● (編集) → ● (編集)
 - ・ でタブを移動します。
 - ・ でタブに表示された項目を移動します。
 - ・以下の情報を登録できます。

タブ	登録項目
電話・メール	姓、名、追加する電話番号、メインのメールアドレス、追加するメールアドレス
詳細	住所、勤務先、ホームページ、メモ、誕生日
設定	画像

- 3 編集する → ● (確定) →  (保存)
 - ・自局番号は編集／削除できません。

オーナー情報で利用できる機能

オーナー情報を表示中に  (メニュー) を押すと、次の操作ができます。

項目	操作・補足
連絡先を送信	SMSやS!メールでオーナー情報を送信します。  「SMSで送信」 → 項目にチェック →  (完了) → 以降はSMSの作成手順 (P.4-9)  「S!メールで送信」 → 項目にチェック →  (完了) → 以降はS!メールの作成手順 (P.4-6)
アカウントの詳細をリセット	自局番号以外のすべてのオーナー情報を初期化します。

発信を制限する機能を使用している場合でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、および118番（海上保安庁）に発信できます。

■緊急通報できる場合、できない場合

発信できる	<ul style="list-style-type: none"> キーロック設定中 全発信規制設定中
発信できない	<ul style="list-style-type: none"> ソフトバンクのUSIMカードを取り付けていない場合 パスワードでのキーロック ご契約時の暗証番号（PINコード）の入力画面 PUK入力画面

■緊急通報位置通知について

ソフトバンク携帯端末（3G）から110番、119番、118番に緊急通報を行うと、発信した場所の位置情報が警察などの緊急情報受理機関に自動的に通知されます。このシステムを「緊急情報位置通知」といいます。通知される位置情報は、本機が受信している基地局測位情報をもとに算出されます。

- ・お申し込み料金、通信料は一切かかりません。
- ・発信した場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されない場合があります。緊急情報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所、目標物、目的をお伝えください。
- ・緊急通報位置通知は、接続先となる緊急情報受理機関が位置情報を受信できるシステムを導入したあとにご利用いただけるようになります。
- ・「184」（発信者番号非通知）をつけて緊急通報を行うと、緊急情報受理機関には位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると緊急情報受理機関が判断したときは、同機関がお客様の位置情報を取得することがあります。

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

- ・お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（<http://www.softbank.jp>）でご案内しています。

発信規制サービス (P.3-13)	電話の発信やSMSの送受信を規制します。
発信者番号通知サービス (P.3-14)	お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりします。

発着信規制サービス

サービスをご利用になるためには、ご契約時の暗証番号が必要です。
(P.1-13)
以下の項目を設定できます。

項目	説明
全発信規制	すべての電話がかかけられません。
発信規制 (国際電話)	国際電話がかかけられません。
全着信規制	すべての電話が受けられません。
全ての発着信規制解除	すべての発信規制と着信規制を解除します。 📞ご契約時の暗証番号を入力
着信拒否番号	指定番号 (拒否番号リストに登録した電話番号) や通知不可番号、公衆電話、非通知番号、未登録番号 (電話帳に登録されていない電話番号) からの着信を拒否するかどうかを設定することによって、着信を規制します。 📞設定するには: (P.3-6、P.3-8)

共通操作 待受画面で●(メニュー)→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

発着信規制サービスを開始/停止する

- 1 「全発信規制」 / 「発信規制 (国際電話)」 / 「全着信規制」 → 「有効化」 / 「停止」
- 2 ご契約時の暗証番号を入力 → ●(OK)

・発信規制中に電話をかけようとする、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発着信規制サービスの設定状況を確認する

- 1 「全発信規制」 / 「発信規制 (国際電話)」 / 「全着信規制」 → 「設定確認」
設定状況が表示されます。
・●(OK) を押すと、発着信規制画面が表示されます。

すべての発着信規制を解除する

- 1 「全ての発着信規制解除」
- 2 ご契約時の暗証番号を入力 → ●(OK)

発信者番号通知サービス

お買い上げ時は、お申し込みいただいた設定（ネットワーク依存）です。

1 待受画面で●(メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」 → 「発信者番号通知」

2 「ネットワーク依存」 / 「On」 / 「Off」

3

電話

4 メール

S!メールについて	4-2
S!メールをご利用になる前に	4-2
メールボックスとメモリについて	4-2
メール画面の見かた	4-3
メールアドレスの変更	4-5
メール送信	4-5
メールを作成する前に	4-5
S!メールを作成/送信する	4-6
SMSを作成/送信する	4-9
下書きを利用する	4-10
メール受信	4-11
新着メールを確認する	4-11
メールリストを取得する	4-11
メールリストを利用する	4-11
メールの管理/利用	4-13
メールの内容を確認する	4-13
メールを返信する	4-14
メールを転送する	4-14
メールを保護する	4-14
メールを削除する	4-14
添付ファイルをデータフォルダに保存する	4-15
メールを利用する	4-15
受信フォルダを管理する	4-17
緊急速報メール	4-18
緊急速報メールを利用する	4-18
緊急速報メールの内容を確認する	4-19
その他の機能	4-19
一般設定	4-19
S!メール設定	4-20
SMS設定	4-20

S!メールについて

本機では、次のメッセージサービスが利用できます。

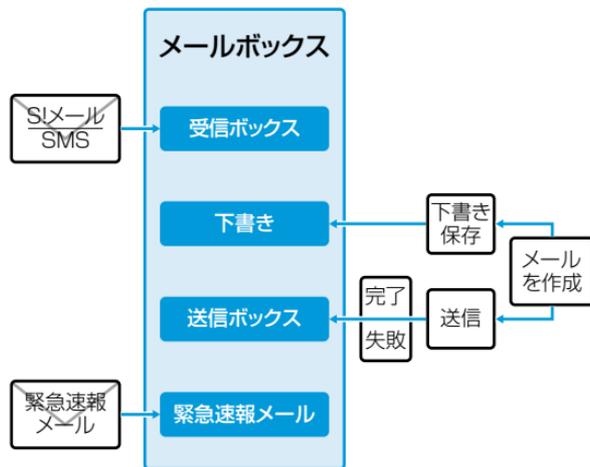
S!メール 【別途お申し込み が必要です】	ソフトバンク携帯電話だけでなく、他社携帯電話やパソコンなどとの間で、長いメッセージや画像、音楽ファイルなどを送受信できます。 最大300KBまでのメールを送受信できます。
SMS	電話番号を宛先として、短い文字メッセージを送受信できます。
緊急速報メール (P.4-18)	気象庁が配信する「緊急地震速報」や「津波警報」、国や地方公共団体が配信する「災害・避難速報」などを本機で受信し、表示できます。

- メール通信料など詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) でご案内しています。

S!メールをご利用になる前に

メールボックスとメモリについて

送受信したメールは、次のようにフォルダで管理されます。



- フォルダ振分けを設定すると、指定したフォルダに自動的に振り分けます。(P.4-17)
- ユーザーフォルダは10個まで追加できます。(P.4-17)

メールの自動削除について

メールボックスの空き容量が不足すると、古いメールから順に自動的に削除されます。削除したくないメールは保護するか(P.4-14)、送信自動削除/受信自動削除(P.4-19)をOFFにしてください。下書きに保存されているメールは自動削除されません。

メールのメモリがいっぱいになると

待受画面に「」(メールボックス空き容量不足)が表示され、それ以上は受信できません。不要なメールを削除し(P.4-14)、新着メール受信を行ってください。(P.4-11)

■メールのメモリ容量を確認する

 待受画面で  (メール) → 「メモリ容量確認」

■メール一覧画面



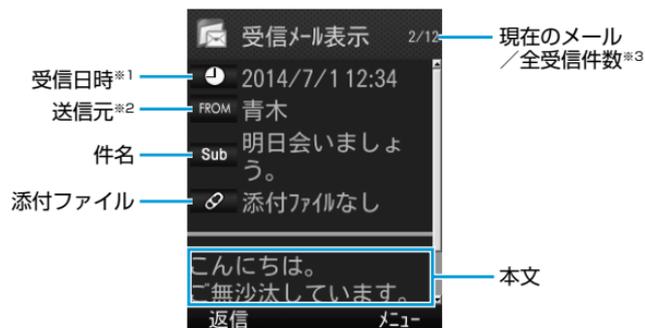
- 送信ボックスの場合、次の項目が表示されます。
 - ※1 送信日時
 - ※2 送信先

メールの種類／状態アイコン

メールの種類と状態のアイコンが組み合わせて表示されます。

メールの種類		メールの状態	
 / 	未読／既読のS!メール		添付ファイルがあります
 / 	未読／既読のS!メール通知		保護されています
 / 	未読／既読のSMS (本体)		転送済みメール
 / 	未読／既読の緊急速報メール (緊急地震速報)		返信済みメール
 / 	未読／既読の緊急速報メール (災害・避難情報)		送信失敗 (送信ボックスのみ)
 / 	未読／既読の緊急速報メール (津波警報)		配信確認通知あり (送信ボックスのみ)
	転送済みのサーバーメール		優先順位 高
			優先順位 低

■ 本文表示画面



・送信ボックスの場合、次の項目が表示されます。

※1 送信日時

※2 送信先

※3 全送信件数

- ・「 (転送済み)」や「 (返信済み)」が表示されているS!メール通知の続きを受信すると、アイコンが「 /  (未読／既読のS!メール)」に変わります。
- ・保護されたS!メール通知は、続きを受信しても保護された状態のままです。

こんなこともできます！

- ・メール一覧画面で利用できる機能 (P.4-15)
- ・受信／送信メール本文表示中に利用できる機能 (P.4-16)

設定

文字サイズを変更する・スクロール設定を変更するには：(P.4-19)

メールアドレスの変更

ご契約時はランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止のためにも、メールアドレスを簡単に推測されない文字列に変更することをおすすめします。

sbm123-abc @ softbank.ne.jp
アカウント名 ドメイン名
(変更できます)

- 詳しくはソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) でご案内しています。

1 待受画面で  (メール) → 「設定」 → 「メール・アドレス設定」
My SoftBankに接続します。

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール送信

メールを作成する前に

項目		S!メール	SMS	
宛先	メールアドレス	<input type="radio"/> 半角で254文字/ 最大20件	×	—
	電話番号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	半角で21文字/ 最大1件
件名		<input type="radio"/> 全角で256文字 半角で512文字	×	—
本文		<input type="radio"/> 全角で15360文字 半角で30720文字	<input type="radio"/>	全角で70文字 半角で70文字*1
添付ファイル		<input type="radio"/> *2	×	—

※1 SMSの本文入力設定 (P.4-20) を半角英数 (160) にしている場合は、半角英数字を最大160文字入力できます。

※2 S!メールの作成サイズは、1件につき、件名、本文、添付ファイルなどを合わせて最大約300KBです。

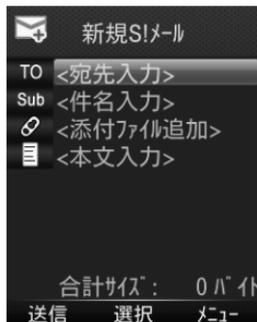
- メールの最大送信可能文字数は、添付ファイルのデータ量によって異なります。

S!メールを作成／送信する

・文字／絵文字／記号などの入力方法については：(P.2-6)

例) 電話帳に登録している相手にS!メールを送信する場合

1 待受画面で  (メール) を長押し



2 宛先入力欄で ● (選択) → 「電話帳」

3 送信相手を選択

- ・● でタブを切り替えます。
- ・● で行を移動します。

4 メールアドレス／電話番号で ● (OK)

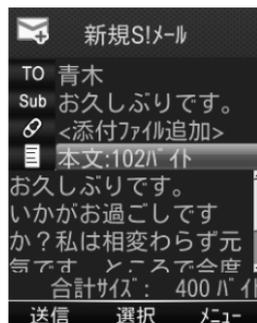
- ・メールアドレスと電話番号の両方が登録されている場合は、● で行を移動します。

5 件名入力欄で ● (選択) → 件名を入力

6 本文入力欄で ● (選択)

7 本文を入力

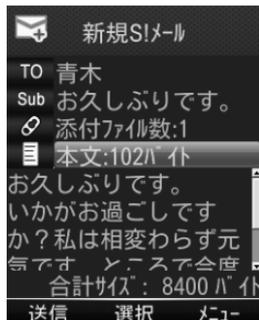
8  (送信)



- ・待受画面で  (メール) → 「新規作成」で新規S!メール作成画面を開くこともできます。

画像などのファイルを添付する

- 1 新規S!メール作成画面の添付ファイル欄で ● (選択)
- 2 ファイルの種類を選択 → フォルダを選択 → ファイルを選択
・SDカードを挿入している場合、📁 で本体タブとメモ리카ードタブを切り替えます。
- 3  (送信)



■ 静止画／動画を撮影して添付する

📷 手順1のあと、「カメラ起動」→「フォトモード」／「ムービーモード」→ 被写体を画面に表示 → ● (撮影) / ● (録画) (→ 動画の場合、 (停止))

■ 添付したファイルを表示／再生する

📷 すでにファイルを添付した状態の添付ファイル欄で ● (選択) → ファイルを選択 → ● (表示) / ● (再生)

■ 添付ファイルを追加する

📷 すでにファイルを添付した状態の添付ファイル欄で ● (選択) →  (メニュー) → 「追加」→ フォルダを選択 → ファイルを選択 →  (完了)

■ 添付ファイルを削除する

📷 すでにファイルを添付した状態の添付ファイル欄で ● (選択) → 添付ファイルを選択 →  (メニュー) → 「削除」→ 「YES」

- ・ファイルの種類や容量によっては添付できない場合があります。
- ・著作権保護ファイルは送信できない場合があります。

宛先に関する機能

共通操作 新規S!メール作成画面の宛先入力欄で ● (選択)

■宛先を直接入力する

☞「直接入力」→ Eメールアドレス/電話番号を入力

■宛先を追加する

☞「<未入力>」→ 宛先入力方法を選択 → 宛先を選択/入力 →  (完了)

■宛先を編集する

☞宛先を選択 → 宛先入力方法を選択 (→電話帳の場合、「YES」) → 宛先を選択/入力 →  (完了)

■宛先を削除する

☞宛先を選択 →  (メニュー) → 「宛先削除」 → 「YES」 →  (完了)

■宛先のタイプを「To」「Cc」「Bcc」に変更する

☞宛先を選択 →  (メニュー) → 「宛先タイプ変更」 → 宛先タイプを選択 →  (完了)

メール作成中の機能

■新規S!メール作成画面表示中に利用できる機能

☞新規S!メール作成画面で  (メニュー) → 項目を選択

項目	操作・説明
送信	メールを送信します。
プレビュー	作成中のメールをプレビューします。
下書き保存	作成中のメールを下書き保存します。
添付ファイル一覧	添付したファイルの一覧を表示します。
署名貼付	登録した署名を挿入します。 ・常に署名を挿入するには：(P.4-20) ・署名を登録しておく必要があります。(P.4-20)
送信設定	送信に関する設定を行います。(P.4-8)

メール送信に関する機能

共通操作 新規S!メール作成画面で  (メニュー) → 「送信設定」

■メールの重要度を知らせる

☞「プライオリティ」→ 重要度を選択

■メールが届いたかどうか確認する

☞「配信確認」→ 「ON」
・常に配信を確認するには：(P.4-19)

■メールを指定したアドレスに返信するように設定する

☞「返信先アドレス設定」→ 「ON」
・常に指定したアドレスに返信するには：(P.4-20)
・返信先アドレスを登録しておく必要があります。(P.4-20)

SMSを作成／送信する

7 (送信)

文字／絵文字／記号などの入力方法については：(P.2-6)

例) 電話帳に登録している相手にSMSを送信する場合

1 待受画面で  (メール) → 「新規SMS作成」



2 宛先入力欄で ● (選択) → 「電話帳」

3 送信相手で ● (OK)

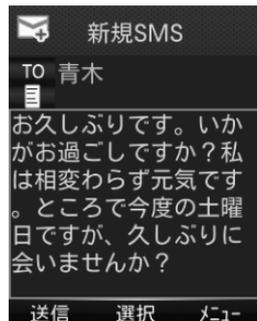
- ● でタブを切り替えます。
- ● で行を移動します。

4 電話番号で ● (OK)

- 複数の電話番号が登録されている場合は、● で行を移動します。

5 本文入力欄で ● (選択)

6 本文を入力



宛先に関する機能

共通操作 新規SMS作成画面の宛先入力欄で ● (選択)

■ 宛先を直接入力する

☞ 「直接入力」 → 電話番号を入力

■ 宛先を編集する

☞ 宛先入力方法を選択 (→電話帳の場合、「YES」) → 宛先を選択／
入力

SMS作成中の機能

■ 新規SMS作成画面表示中に利用できる機能

☞ 新規SMS作成画面で  (メニュー) → 項目を選択

項目	操作・説明
送信	SMSを送信します。
プレビュー	作成中のSMSをプレビューします。
下書き保存	作成中のSMSを下書き保存します。
配信確認	配信確認するかどうかを設定します。
入力設定	入力に関する設定を行います。 ☞ 「日本語入力」 / 「半角英数入力」
S!メールへ切替	SMSをS!メールに切り替えます。

設定

SMSセンター番号を変更する・本文は常に半角英数で入力するには：
(P.4-20)

下書きを利用する

下書き保存したメールを使って、簡単にメールを作成します。

1 待受画面で  (メール) → 「下書き」

- ・以降は、S!メールを送信する (P.4-6)、SMSを送信する (P.4-9) の手順に従って、メールを作成／送信してください。

S!メールの自動受信について

- S!メールは自動的に受信されます。(自動受信しない設定はP.4-20)
- ファイルサイズの大きい添付ファイルがあるメールは自動受信の設定に関わらずメールの一部のみを受信します。

新着メールを確認する

新しいメールを受信すると、待受画面に「」とインフォメーションが表示されます。



1 インフォメーションを選択

受信ボックスが表示されます。

- 複数の宛先が設定されたS!メールを受信した場合、本文表示画面で宛先表示を選択すると、宛先の一覧を表示できます。
- インフォメーションが表示されたあとに受信ボックスを開くと、未読メールが残っていてもインフォメーションは再表示されません。

メールリストを取得する

サービスセンターに一時蓄積されているS!メール(サーバーメール)の一覧を入手して、サーバーメールを確認できます。

サーバーメールを確認する

- 1 待受画面で  (メール) → 「サーバーメール操作」
- 2 「メールリスト」 → 「YES」
■サーバーメールリストを更新する
 手順1のあとメールリスト →  (更新) → 「YES」

メールリストを利用する

サーバーメールを受信する

- 1 待受画面で  (メール) → 「サーバーメール操作」 → 「メールリスト」
 - メールリストにサーバーメールがない場合、「YES」 → 「OK」と操作します。
 - 2 1件受信する場合
S!メールを選択 → ● (受信)
複数受信する場合
 (メニュー) → 「サーバーメール受信」 → 「複数選択」 → S!メールにチェック →  (完了) → 「YES」
- すべて受信する
 待受画面で  (メール) → 「サーバーメール操作」 → 「メール全受信」

サーバーメールを転送する

- 1 待受画面で  (メール) → 「サーバーメール操作」 → 「メールリスト」
- 2 S!メールを選択 →  (メニュー) → 「サーバーメール転送」
- 3 宛先入力欄で ● (選択) → 宛先を入力
- 4  (送信)

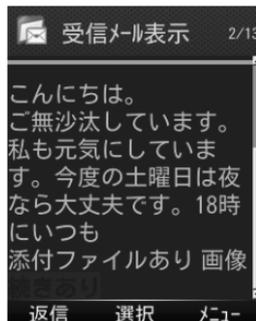
サーバーメールを削除する

- 1 待受画面で  (メール) → 「サーバーメール操作」 → 「メールリスト」
- 2  (メニュー) → 「サーバーメール削除」
- 3 「1件」 → 「YES」

S!メールの続きを受信する

メール送信中、手動取得設定中など、自動受信ができない場合があります。その場合、サービスセンターに蓄積されたS!メールの一部(先頭部分)をS!メール通知として受信します。続きは手動で受信してください。

- 1 本文表示画面で、本文一番下の続きありを選択



■ メール一覧画面からS!メールの続きを受信する

- 1 メール一覧画面で  (メニュー) → 「受信」 → 「1件」

■ 複数のS!メールの続きを受信する

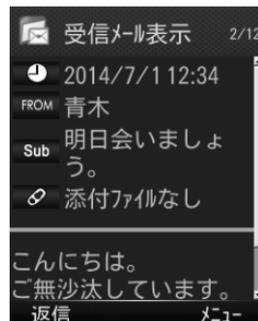
- 1 メール一覧画面で  (メニュー) → 「受信」 → 「複数選択」 → メールにチェック →  (完了) → 「YES」

メールの内容を確認する

1 待受画面で [メール] (メール) → 「受信ボックス」／「下書き」／「送信ボックス」

- 受信ボックスの場合はさらにフォルダを選択します。未読メールがある場合は、フォルダに未読件数が表示されます。
- メールボックスについては：(P.4-2)

2 メールを選択



こんなこともできます！

- 受信ボックス画面表示中に利用できる機能 (P.4-17)
- メール一覧画面で利用できる機能 (P.4-15)

新着メールを手動で受信する

圏外時などでサービスセンターに届いたメールを手動で受信します。

[待受画面] [メール] (メール) → 「新着メール受信」

サーバーメールに関する機能

共通操作 [待受画面] [メール] (メール) → 「サーバーメール操作」

■サーバーメールを並べ替える

[メールリスト] [メニュー] (メニュー) → 「ソート」 → 「日付」

■サーバーメールの詳細情報を確認する

[メールリスト] → S!メールを選択 → [メニュー] (メニュー) → 「プロパティ」

■サーバーメールを全部受信する

[メール全受信]

■サーバーメールの容量を確認する

[サーバーメール容量]

メールを返信する

- 1 本文表示画面で  (返信) → 「送信元に返信」／「全員に返信」
(→送信元に返信の場合、「S!メール作成」／「SMS作成」)
 - ・S!メールを返信する場合は、件名の先頭に返信を示す「Re:」が付きます。

- 2 返信メールを作成 →  (送信)

■本文を引用して返信する

- 1 本文表示画面で  (メニュー) → 「引用して返信」 → 「送信元に返信」／「全員に返信」
 - ・選択できる項目は、返信するメールの種類により異なります。
- ・メール一覧画面でメールを選んで返信することもできます。
(P.4-15)

メールを転送する

- 1 本文表示画面で  (メニュー)
- 2 「転送」 → 「転送」／「サーバーメール転送」
 - ・S!メールを転送する場合は、件名の先頭に転送を示す「Fw:」が付き、元の本文が引用されます。
- 3 転送メールを作成 →  (送信)

メールを保護する

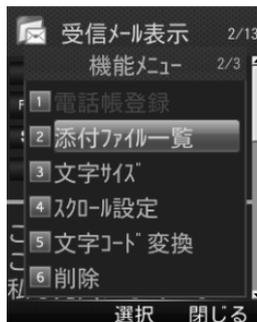
- 1 待受画面で  (メール) → 「受信ボックス」／「送信ボックス」
 - ・受信ボックスの場合はさらにフォルダを選択します。
- 2 メールを選択 →  (メニュー) → 「保護」 → 「1件」

メールを削除する

- 1 待受画面で  (メール) → 「受信ボックス」／「下書き」／「送信ボックス」
 - ・受信ボックスの場合はさらにフォルダを選択します。
- 2 メールを選択 →  (メニュー) → 「削除」 → 「1件」 → 「YES」

添付ファイルをデータフォルダに保存する

1 本文表示画面で (メニュー) → 「添付ファイル一覧」



2 ファイルを選択

ファイルの種類によって、表示または再生されます。

3 確認が終了したら (クリア/バック)

添付ファイル一覧画面に戻ります。

4 保存するには、ファイルを選択 → (保存) → 「YES」

返信操作画面が表示されます。

- 添付された画像ファイルは、自動的に本文表示画面で表示/再生されます。
- 本機で対応していないファイルは、データフォルダのその他ファイルフォルダに保存されます。ただし、データによっては本機に保存できないものもあります。

自動再生可能なファイル形式について

- 画像ファイル (JPEG、GIF、PNG)
- 音楽ファイル (AMR)

メールを利用する

メール一覧でできる操作

1 待受画面で (メール) → 「受信ボックス」/「下書き」/「送信ボックス」

・受信ボックスの場合はさらにフォルダを選択します。

2 (メニュー) → 項目を選択

項目	操作・補足
受信 ^{*1}	メールを受信します。
返信 ^{*1}	メールを返信します。
引用して返信 ^{*1}	メールを引用して返信します。
転送 ^{*1}	メールを転送します。
編集 ^{*2*} ^{*3}	メールを編集します。
送信 ^{*2}	メールを送信します。
発信	宛先電話番号に発信したり、メール作成したりします。 「音声発信」/「SMS作成」/「S!メール作成」 /「電話帳登録」
アドレス登録 ^{*1*} ^{*3}	電話帳に登録します。 「新規登録」/「追加登録」
保護/保護解除 ^{*1*} ^{*3}	メールの保護/保護解除を切り替えます。 「1件」
既読にする/未読にする ^{*1}	メールの既読/未読を切り替えます。

移動 ^{※1}	メールを別のフォルダに移動します。 📧「1件」
削除	メールを削除します。 📧「1件」 / 「サーバーメール削除」 ^{※1} / 「サーバーメール+受信メール」 ^{※1}
配信確認 ^{※3}	配信確認するかどうかを設定します。
ソート	メールボックス内の並び順を変更します。 📧「日付」 / 「宛先」 ^{※1※2} / 「未読既読」 ^{※1}
プロパティ	メールのプロパティを表示します。

※1 受信ボックスのみ

※2 下書きのみ

※3 送信ボックスのみ

メール表示でできる操作

1 待受画面で  (メール) → 「受信ボックス」 / 「送信ボックス」
・受信ボックスの場合はさらにフォルダを選択します。

2 メールを選択

3  (メニュー) → 項目を選択

項目	操作・補足
受信 ^{※1}	メールを受信します。
返信 ^{※1}	メールを返信します。
引用して返信 ^{※1}	メールを引用して返信します。
転送 ^{※1}	メールを転送します。
編集 ^{※2}	メールを編集します。
発信	宛先電話番号に発信したり、メール作成したりします。 📧「音声発信」 / 「SMS作成」 / 「S!メール作成」 / 「電話帳登録」

項目	操作・補足
アドレス登録	送信元を電話帳に登録します。
電話帳登録	本文の電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録します。
添付ファイル一覧	添付されたファイルの一覧を表示します。
文字サイズ	📧「標準表示」 / 「縮小表示」 / 「拡大表示」
スクロール設定	📧「1行スクロール」 / 「1/2ページスクロール」 / 「1ページスクロール」
文字コード変換 ^{※1}	📧文字コードを選択
削除	メールを削除します。
配信確認 ^{※2}	配信確認するかどうかを設定します。
プロパティ	メールのプロパティを表示します。

※1 受信ボックスのみ

※2 送信ボックスのみ

受信フォルダを管理する

送受信メールを振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。

- 設定後に送受信したメールが振り分けの対象になります。
- 複数の振り分け条件と一致するメールは、以下の優先順位で振り分けられるフォルダが決まります。
件名 → アドレス → 電話帳グループ
- 1つのフォルダに対して、複数の振り分け条件を設定できます（最大30件）。

1 待受画面で  (メール) → 「受信ボックス」

2 フォルダを選択 →  (メニュー) → 「フォルダ振分け」

3  (メニュー) → 項目を選択

項目	操作・補足
アドレス追加	メールをアドレスで振り分けます。  宛先選択方法を選択 → 宛先を選択／入力
件名追加	メールを件名で振り分けます。  件名を入力 ・SMSは件名では振り分けできません。

登録済みの条件を編集する

 手順2のあと条件を選択 → ● (編集) → 条件を編集

振り分け設定一覧の表示を切り替える

メールの宛先を電話帳に登録されている名前表示またはメールアドレス／電話番号表示に切り替えます。

 手順2のあと  (メニュー) → 「一覧表示切替」 → 「名前表示」
／「アドレス表示」

設定した振り分け条件を削除する

 手順2のあと (振り分け条件を選択 →)  (メニュー) → 「削除」
／「全削除」 → 「YES」

フォルダを編集する

共通操作 待受画面で  (メール) → 「受信ボックス」

フォルダを追加する

  (メニュー) → 「フォルダ追加」 → フォルダ名を入力

フォルダ名を変更する

 フォルダを選択 →  (メニュー) → 「フォルダ名編集」 → フォルダ名を入力

フォルダを削除します。

 フォルダを選択 →  (メニュー) → 「フォルダ削除」 → 「YES」

気象庁が配信する「緊急地震速報」*や「津波警報」、国や地方公共団体が配信する「災害・避難速報」などを本機で受信し、表示できます。

- お買い上げ時はOnに設定されています。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 緊急速報メールをOnにしている場合、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

※地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）をただちに推定し、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域を、可能な限り素早く知らせる情報です。

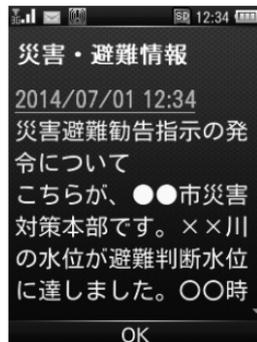
■緊急速報メールを受信しない

待受画面で  (メール) → 「緊急速報メール」 →  (設定) → 「Off」

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールの画面が表示され、専用の着信音およびバイブレーションでお知らせします。

- 専用着信音は、緊急地震速報と災害・避難速報／津波警報でそれぞれ異なります。
- いずれかのキーを押して、専用着信音とバイブレーションを停止できます。
- マナーモードであっても、専用着信音が鳴動します。



緊急速報メールの内容を確認する

受信した緊急速報メールのうち、最新の30件が保存されます。

1 待受画面で  (メール) → 「緊急速報メール」



2 メールを選択

- 受信が30件を超えたときは、古いものから削除されます。

一般設定

共通操作 待受画面で  (メール) → 「設定」 → 「一般設定」

文字サイズ	プレビューの文字サイズを設定します。  サイズを選択
スクロール設定	プレビューをスクロールする単位を設定します。  単位を選択
配信確認	常に配信を確認するかどうかを設定します。  「ON」 / 「OFF」
送信自動削除	送信ボックスの空き容量が不足したときに、古いメールを自動的に削除するかどうかを設定します。  「ON」 / 「OFF」
受信自動削除	受信ボックスの空き容量が不足したときに、古いメールを自動的に削除するかどうかを設定します。  「ON」 / 「OFF」

S!メール設定

共通操作 待受画面で  (メール) → 「設定」 → 「S!メール設定」

送信設定	返信先アドレス	<p>指定したアドレスに返信するように設定します。また、返信先のアドレスを登録します。</p> <p> 「ON」 / 「OFF」</p> <p> <返信先アドレス>欄を選択 → ● (編集) → 「電話帳」 / 「直接入力」</p>
	署名設定	<p>署名を挿入するかどうかを設定します。また、署名を登録します。</p> <p> 「ON」 / 「新規作成のみON」 / 「OFF」</p> <p> <署名>欄を選択 → ● (編集) → 署名を入力</p>
受信設定		<p>自動的に受信するかどうかを設定します。</p> <p> 「自動受信」 / 「手動取得」</p>

SMS設定

共通操作 待受画面で  (メール) → 「設定」 → 「SMS設定」

SMSセンター番号	<p>SMSセンター番号を設定します。</p> <p> SMSセンター番号を選択</p>
本文入力設定	<p>本文に入力する文字を設定します。</p> <p> 日本語 (70) / 半角英数 (160)</p>

My SoftBank	5-2
設定メニューを表示する.....	5-2

My SoftBankはパソコンやソフトバンク携帯電話からご利用料金の確認や、各種設定内容の確認、変更ができるサービスです。

- ・携帯電話からMy SoftBankへアクセスする際のパケット通信料は有料になりますのでご注意ください。
- ・「メールし放題」にご加入いただいている場合、My SoftBankにて、メールアドレスの変更などのメールに関連した設定ができます。
- ・My SoftBankは「メールし放題」の有効期間内のみご利用いただけます。

- 1** 待受画面で ● (メニュー) → 「MySoftBank」 → 各種変更手続きのページが表示されます。
 ・以降は画面の指示に従って操作してください。

設定メニューを表示する

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「MySoftBank」 →  (メニュー)

項目		操作・説明
更新		情報画面を更新します。
進む		戻る前に表示していた情報画面に進みます。
エンコード		エンコードを設定します。   で項目を選択 → ● (選択)
プロパティ		情報画面のプロパティを表示します。
設定	詳細設定	キャッシュモード キャッシュを使うかどうかを設定します。   で項目を選択 → ● (OK)
		Cookieモード Cookieを使うかどうかを設定します。   で項目を選択 → ● (OK)
		更新制限 更新するタイミングを設定します。   で項目を選択 → ● (OK)
	キャッシュをクリア	キャッシュメモリに一時保存された情報を消去します。  「はい」
	Cookieをクリア	サーバー側でお客様を識別するための情報 (Cookie) を消去します。  「はい」
	証明書	プリインストール プリインストールの証明書を表示します。  証明書を選択 → ● (選択)
		使用中 使用中の証明書を表示します。  証明書を選択 → ● (選択)
バージョン		ブラウザのバージョンを表示します。
終了		My SoftBankを終了します。

カメラをご利用になる前に	6-2
カメラ利用時のご注意	6-2
ディスプレイ表示	6-3
カメラで使用するキーについて	6-3
静止画の撮影	6-4
静止画撮影モード	6-4
静止画を撮影する	6-4
静止画撮影のできる機能	6-4
動画の撮影	6-5
動画撮影モード	6-5
動画を撮影する	6-5
動画撮影のできる機能	6-5
撮影した静止画／動画の確認	6-6

カメラをご利用になる前に

本機は約2.0メガピクセルCMOSカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

カメラ利用時のご注意

- ・レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れていたら柔らかい布できれいに拭いてください。
- ・本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。動くとき画像が乱れる原因となります。特に、薄暗い場所では乱れやすいのでご注意ください。
- ・本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- ・カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。

カメラ撮影時の撮影音について

マナーモードであっても、撮影時はシャッター音が鳴動します。音量は変更できません。また、シャッター音は変更できます。(P.6-4)

- ・電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- ・カメラ起動中に着信やアラーム動作があったり、電池残量が不足したりするとカメラは終了します。撮影したデータを保存する前に終了した場合でもデータは保持されています。また、動画の場合はカメラ終了まで撮影していたデータが保持されています。再びカメラが起動したときにデータを保存してください。
- ・起動後に約2分間何も操作しないとカメラは省電力モードになります。

画像データの保存形式／保存場所

撮影した静止画／動画は本体のデータフォルダに保存されます。

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG (.jpg)	(P.9-2)
動画	MPEG-4 (.3gp、.mp4)	(P.9-2)

SDカードに保存する場合は、保存先を切り替えてください。(P.6-4、P.6-5)

メモリ容量を確認するには：(P.9-6)

カメラモードと画像サイズ／撮影サイズについて

カメラモード	撮影画像	画像サイズ／撮影サイズ
カメラ	静止画	1200×1600
		1024×1280
		960×1280
		768×1024
		600×800
ビデオカメラ	動画	制限なし Eメールサイズ

ディスプレイ表示

・画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

■ カメラ



■ ビデオカメラ



項目	説明
ズームバー	ズームレベルを表示
撮影画像	静止画 動画

カメラで使用するキーについて

■ 撮影／録画面で使用する

	メニューを開く
/ A/B	撮影／録画する
	ズームレベルを変更する

■ 撮影／録画面（メニュー表示時）で使用する

	メニューを切り替える
	項目を移動する
	項目を選択する
	メニューを閉じる

■ 録画中画面で使用する

	ズームレベルを変更する
	録画を停止する

■ 撮影／録画後画面で使用する

*	動画を再生する
	メニューを開く

※録画の場合のみ

静止画の撮影

静止画撮影モード

静止画は縦画面で撮影します。

静止画撮影では、画像サイズ、画質、明るさ、コントラスト、効果が設定できます。

静止画を撮影する

1 待受画面で (A/B) → 被写体を画面に表示

- でズームレベルを変更します。



2 ● (撮影)

撮影音が鳴り、静止画が撮影、保存されます。画面上部にファイル名と保存先が表示されます。

3 (CLEAR/BACK)

静止画撮影画面に戻ります。

4 (CLEAR/BACK)

待受画面に戻ります。

- 待受画面で ● (メニュー) → 「カメラ」でも起動できます。

静止画撮影のできる機能

共通操作 待受画面で (A/B) → (メニュー)

項目	説明
「マイピクチャー」を開く	静止画の保存先を表示します。
画像サイズ	画像サイズを選択します。
画質	画質を選択します。
明るさ	明るさを選択します。
コントラスト	コントラストを選択します。
効果	撮影効果を選択します。
シャッター音	シャッター音を選択します。
保存先	SDカードを挿入しているときは、メモリカードを指定できます。
ビデオカメラに切り替え	撮影モードをビデオカメラに切り替えます。

動画撮影モード

動画は縦画面で録画します。

動画撮影では、撮影サイズ、ビデオ画質、明るさ、コントラスト、効果、音声出力、ビデオフォーマットが設定できます。

動画を撮影する

- 1 待受画面で (メニュー) → (メニュー)
- 2 「ビデオカメラに切り替え」→ 被写体を画面に表示
 - ・ でズームレベルを変更します。



- 3 ● (録画)
撮影音が鳴り、動画の録画が開始されます。
- 4 (停止)
動画が保存され、画面上部にファイル名と保存先が表示されます。

- 5 (メニュー)
動画撮影画面に戻ります。

- 6 (メニュー)
待受画面に戻ります。

- ・ 待受画面で ● (メニュー) → 「カメラ」 → (メニュー) → 「ビデオカメラに切り替え」でも起動できます。

動画撮影のできる機能

共通操作 待受画面で (メニュー) → (メニュー) → 「ビデオカメラに切り替え」 → (メニュー)

項目	説明
「マイムービー」を開く	動画の保存先を表示します。
撮影サイズ	撮影サイズをEメールに添付できるサイズに制限するかどうかを選択します。
ビデオ画質	画質を選択します。
明るさ	明るさを選択します。
コントラスト	コントラストを選択します。
効果	撮影効果を選択します。
音声出力	録画に音声を含めるかどうかを選択します。
ビデオフォーマット	録画を保存するファイル形式を選択します。
保存先	SDカードを挿入しているときは、メモリカードを指定できます。
カメラに切り替え	撮影モードをカメラに切り替えます。

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「データフォルダ」

1 静止画の場合

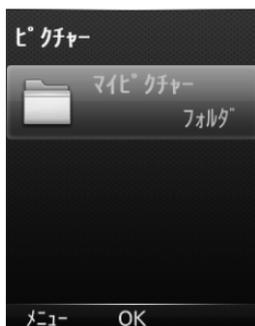
「ピクチャー」

動画の場合

「ムービー」

2 フォルダを選択 → ● (OK)

3 ファイルを選択 → ● (表示) / ● (再生)



6

カメラ

■SDカードに保存されている静止画を確認する

手順1で「メモリーカード」→ フォルダを選択 → ● (OK)

■SDカードに保存されている動画を確認する

手順1で「メモリーカード」→ フォルダを選択 → ● (OK)

■静止画撮影画面表示中に静止画を確認する

静止画撮影画面表示中に [] (メニュー) → 「マイピクチャー」を開く

・静止画撮影画面に戻るには： [CLEAR/BACK]

■静止画表示中の操作

全画面表示にする	● (全画面)
拡大表示する※1	⊙
縮小表示する※1	⊙
上に移動する※1※2	2 ABC
左に移動する※1※2	4 GH
右に移動する※1※2	6 MNO
下に移動する※1※2	8 TUV
メールに添付して送信する	[] (メニュー) → 「メールで送信」
ファイル情報を確認する	[] (メニュー) → 「ファイル情報」
前のファイルを表示する	⊙
次のファイルを表示する	⊙

※1 全画面表示のときのみ

※2 拡大表示のときのみ

■動画再生中の操作

再生する	● (▶)
一時停止する	● (⏸)
音量を調整する	🔊
ミュート/ミュート解除を切り替える	✉ (メニュー) → 「ミュート」 / 「ミュート解除 (#キー)」 #*0/でもミュート/ミュート解除を切り替えられます。
明るさを調整する	✉ (メニュー) → 「明るさ」 → 🔊 2 ABC / 8 TVでも明るさを調整できます。
メールに添付して送信する	✉ (メニュー) → 「メールで送信」
ファイル情報を確認する	✉ (メニュー) → 「ファイル情報」
前のファイルを表示する	🔍 (◀)
次のファイルを表示する	🔍 (▶)

ツールについて.....	7-2
ツールの種類.....	7-2
各ツールの操作方法.....	7-2
カレンダー.....	7-2
アラーム.....	7-4
ボイスレコーダー.....	7-5
ストップウォッチ.....	7-6
世界時計.....	7-6
電卓.....	7-7
単位換算.....	7-7

ツールについて

ツールの種類

以下の便利なツールが利用できます。

カレンダー (P.7-2)

日付や曜日の確認をしたり、予定やToDoを登録できます。

アラーム (P.7-4)

指定した時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎日または曜日を指定してアラームを鳴らすこともできます。

ボイスレコーダー (P.7-5)

音声を録音／再生できます。録音したファイルはメールに添付したり、SDカードに保存したりできます。

電卓 (P.7-7)

四則演算ができます。

ストップウォッチ (P.7-6)

開始から終了までの時間を計測したり、途中経過を計測したりできます。

世界時計 (P.7-6)

世界各国の都市の現在の日時を確認できます。また、システム時間を世界各国の都市の時間に変更することもできます。

各ツールの操作方法

カレンダー

■ カレンダーを表示する

- 1 待受画面で  (カレンダー) 月単位のカレンダーが表示されます。



■ カレンダーでできる操作

- 1 待受画面で  (カレンダー) →  (メニュー)

項目	操作・説明
新規登録	予定やToDoを登録します。  (P.7-3)
1週間表示／1ヶ月表示	表示を切り替えます。
日付へ移動	指定した日付へ移動します。  日付を指定 → ● (OK)
削除	予定やToDoを削除します。  「この日」／「今日より前」／「全件」
設定	カレンダーのアラーム音や表示を設定します。
メモリ情報	予定やToDoの登録状況を表示します。

■ 予定やToDoを登録する

予定やToDoは合計で500項目まで登録できます。

1 待受画面で  (カレンダー) → 日付を選択 →  (X
ニュー) → 「新規登録」

2 「予定」 / 「ToDo」 → 項目を選択

項目	操作・説明
件名	 件名を入力
場所*1	 場所を入力
終日*1	 「On」 / 「Off」 → ● (OK)
開始時刻*1*2	 開始時刻を入力
終了時刻*3	 終了時刻を入力
開始日*1	 開始日を入力
終了日	 終了日を入力
アラーム設定	 「On」 / 「Off」 → ● (OK)
アラーム時刻*4	 アラームの時刻を入力
アラーム日付*4	 アラームの日付を入力
リピート設定	 予定やToDoを繰り返す間隔を選択
詳細	 予定やToDoの詳細な説明を入力

※1 予定の場合のみ

※2 終日がOffのみ

※3 ToDoの場合、または予定かつ終日がOffの場合のみ

※4 アラームがOnのみ

3  (保存)



アラーム

指定した時刻にアラーム音とアニメーションでお知らせします。

■アラームを登録する

アラームは最大5件まで登録できます。

・アラームを設定すると、ステータスバーに「🔔」が表示されます。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「アラーム」 → 未設定を選択 → ● (編集)

2 項目を選択

項目	操作・説明
時刻	🕒 アラームを鳴らす時刻を入力
リピート	🔄 リピートするかどうかを選択 (→リピートを選択した場合、指定したい曜日にチェック → 📧 (確定))
スヌーズ	スヌーズを設定すると、アラーム音が約60秒鳴った後、設定した間隔で繰り返しアラーム通知します。 🕒 スヌーズの間隔を選択
アラーム音	🔊 アラーム音を鳴らすかどうか選択 (→Onを選択した場合、アラーム音ファイルを選択 → ● (設定))
件名	📄 件名を入力

3 📧 (保存)



■アラームをOffにする

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「アラーム」 → Offにしたいアラームを選択

2 📧 (メニュー) → 「アラームOff」

■アラームを1件リセットする

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「アラーム」 → リセットしたいアラームを選択

2 📧 (メニュー) → 「リセット」 → 「はい」

■アラームを全件リセットする

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「アラーム」

2 📧 (メニュー) → 「全件リセット」 → 「はい」

■アラーム音を停止する

1 アラーム音が鳴ったら ● (停止)

- スヌーズを設定している場合、●以外のいずれかのキーを押すとアラームが中断します。
また、スヌーズで設定した間隔でアラームが鳴動します。

- 同じ時刻の設定があるときは、「アラーム」→「ToDo」→「予定」の優先順位で通知します。通知できなかったToDoまたは予定は、未通知アラームありのインフォメーションでお知らせします。

ボイスレコーダー

1 ●を長押し

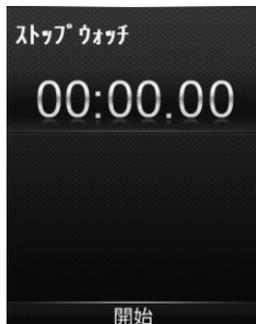


キー操作	説明
● (録音)	録音を開始します。
⏏ (停止)	録音を停止します。
🔊	録音音量を調整します。
録音中に ● (一時停止)	録音を一時停止します。
一時停止中に ● (再開)	録音を再開します。
✉ (メニュー) → 「録音時間」 → 項目を選択 → ● (OK)	録音時間を変更します。
✉ (メニュー) → 「保存先」 → 項目を選択 → ● (OK)	保存先を変更します。
✉ (メニュー) → 「マイオーディオ」	保存先を表示します。

- 待受画面で ● (メニュー) → 「ツール」 → 「ボイスレコーダー」でもボイスレコーダーを起動できます。

ストップウォッチ

1 待受画面で ● (メニュー) → 「ツール」 → 「ストップウォッチ」



キー操作	説明
● (開始)	計測を開始します。
計測中に ● (停止)	計測を停止します。
計測停止中に ● (再開)	計測を再開します。
✉ (ラップ)	途中経過を記録します。
計測後に ✉ (リセット)	計測結果をリセットします。

世界時計

1 待受画面で ● (メニュー) → 「ツール」 → 「世界時計」



キー操作	説明
🌐	世界各国の都市の時計を表示します。
● (設定)	表示している都市の時刻にシステム時間を変更します。

電卓

- 最大12桁まで表示できます。

1 ①



キー操作	説明	キー操作	説明
1. [1.0] ~ 0. [0.0]	数字の入力	① (イコール)	=
②	+	* [±]	±
③	-	[.] [小数点]	小数点 (.)
④	×	[C] [CLEAR/BACK]	クリア
⑤	÷	[R] (リセット)	リセット

例) $-13 + 31.5 = 18.5$

① [1.0] [3] [DEF] ② [3] [DEF] ③ [1.0] [.] [5] [JKL] ④

- 待受画面で ① (メニュー) → 「ツール」 → 「電卓」でも電卓を起動できます。

単位換算

- 1 待受画面で ① (メニュー) → 「ツール」 → 「単位換算」
例) 面積の場合



項目	説明
通貨	換算レートを入力し、外貨量または自国通貨量を入力します。
面積	単位1と単位2の単位を選択し、単位1または単位2に値を入力します。単位はあらかじめ定義されています。
長さ	
質量	
温度	

301Zの利用を禁止／制限する	8-2
使用を禁止する	8-2
電源ON時にPIN認証する	8-2
誤動作を防止する	8-3
他の人が使用できないようにする	8-3

使用を禁止する

・操作暗証番号の詳細については：(P.1-13)

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「セキュリティ設定」 → 操作暗証番号を入力
- 3 「セキュリティコードOn/Off」 → 「電源ON時本体暗証番号」 → 「On」
- 4 操作暗証番号を入力 → ● (OK)

操作暗証番号を変更する

現在指定している操作暗証番号を、新しい操作暗証番号に変更します。

操作暗証番号を変更する前に、電源ON時本体暗証番号をOnにします。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「セキュリティ設定」 → 操作暗証番号を入力
- 3 「セキュリティコード変更」 → 「電源ON時本体暗証番号」
- 4 現在の操作暗証番号を入力 → ● (OK)
- 5 新しい操作暗証番号を入力 → ● (OK)
- 6 新しい操作暗証番号を再入力 → ● (OK)

電源ON時にPIN認証する

・PINコードの詳細については：(P.12-3)

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「セキュリティ設定」 → 操作暗証番号を入力
- 3 「セキュリティコードOn/Off」 → 「PINコード」 → 「On」
- 4 PINコードを入力 → ● (OK)

PINコードを変更する

現在指定しているPINコードを、新しいPINコードに変更します。PINコードを変更する前に、PINコードをOnにします。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「セキュリティ設定」 → 操作暗証番号を入力
- 3 「セキュリティコード変更」 → 「PINコード」
- 4 現在のPINコードを入力 → ● (OK)
- 5 新しいPINコードを入力 → ● (OK)
- 6 新しいPINコードを再入力 → ● (OK)

PINコードの入力間違いについて

・PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。
PINロック解除コード (PUKコード) を入力して、PINロックを解除してください。(P.8-3)

PINロックを解除する

・お問い合わせ先 (P.12-12) で、「PINロック解除コード (PUKコード)」を確認してください。

- 1 PUKコードを入力 → ● (OK)
- 2 新しいPINコードを入力 → ● (OK)
- 3 新しいPINコードを再入力 → ● (OK)

PUKコードの入力間違いについて

・PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「ソフトバンクショップ」にてUSIMカードの再発行 (有償) が必要になりますので、ご注意ください。

誤動作を防止する

誤ってキーを押して動作してしまうことを防ぐために、キー操作ができないようにします。

・ロック中は、画面の下に「解除」と表示されます。

- 1 待受画面で ● を長押し
 - ・● (解除) を長押しで解除できます。

誤動作防止中の動作について

・着信中に ● (応答) を押して応答したり、 (メニュー) → 「保留」と操作して応答を保留したりできます。

・緊急電話番号 (110/119/118) へ発信すると、誤動作防止は解除されます。

・アラーム、予定またはToDoなどの通知は、● (停止) で止めたり、 (スヌーズ) でスヌーズすることができます。

自動的に誤動作を防止にする

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「本体設定」 → 「キーロック」
- 3 「自動キーロック」 → ロックを開始する時間を選択
 - ・● (解除) を長押しで解除できます。

他の人が使用できないようにする

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」
- 2 「本体設定」 → 「キーロック」
- 3 「パスワードキーロック」 → 「On」 → 操作暗証番号を入力 → ● (OK)
 - ・操作暗証番号を入力して解除できます。

パスワード設定中の動作について

・着信中に ● (応答) を押して応答したり、 (メニュー) → 「保留」と操作して応答を保留したりできます。

・アラーム、予定またはToDoなどの通知は、● (停止) で止めたり、 (スヌーズ) でスヌーズすることができます。

・待受画面でいずれかのボタンを押すと、操作暗証番号の入力画面が表示されます。操作暗証番号を入力してパスワードキーロックを解除すると、「パスワードキーロック」の設定は自動的に「Off」になります。

データフォルダについて	9-2
データフォルダの構成.....	9-2
データフォルダに登録できるファイル.....	9-2
ファイルの確認.....	9-2
表示方法.....	9-2
画像を表示する	9-3
音声を再生する	9-4
動画を再生する	9-4
ファイルやフォルダ管理.....	9-5
ファイルを移動する	9-5
ファイル／フォルダの編集.....	9-5
新しいフォルダを作成する	9-5
フォルダ名やファイル名を変更する	9-5
フォルダ／ファイルを消去する	9-5
フォルダ／ファイルでできること	9-6

データフォルダについて

本機のデータはデータフォルダで管理できます。
本機で撮影した画像や動画、メールから保存したデータは、データフォルダに保存されます。

データフォルダの構成

本体	メモ리카ード	説明
ピクチャー	Pictures	撮影したり、メールから保存した静止画
オーディオ	Audios	録音した音声
ムービー	Videos	録画したり、メールから保存した動画
その他	Others	その他のファイル
-	PRIVATE	電話帳のバックアップファイル

データフォルダに登録できるファイル

フォルダ名	ファイル形式
ピクチャー	.jpg
オーディオ	.amr
ムービー	.3gp, .mp4
その他	すべてのファイル形式

ファイルの確認

表示方法

- 待受画面で ● (メニュー) → 「データフォルダ」
 - で本体とメモ리카ードを切り替えます。



2 フォルダを選択

- フォルダが表示されたときは、必要に応じてフォルダを選択します。



3 ファイルを選択

ファイルが表示または再生されます。

画像を表示する

共通操作 ファイルリスト画面で画像ファイルを選択

全画面表示にする	<input checked="" type="radio"/> (全画面)
拡大表示する※1	<input type="radio"/>
縮小表示する※1	<input type="radio"/>
上に移動する※1※2	<input type="button" value="2 ↑ ABC"/>
左に移動する※1※2	<input type="button" value="4 ← GHI"/>
右に移動する※1※2	<input type="button" value="6 → MNO"/>
下に移動する※1※2	<input type="button" value="8 ↓ PQR"/>
メールに添付して送信する	<input type="button" value="✉"/> (メニュー) → 「メールで送信」
ファイル情報を確認する	<input type="button" value="ℹ"/> (メニュー) → 「ファイル情報」
前のファイルを表示する	<input type="radio"/>
次のファイルを表示する	<input type="radio"/>

※1 全画面表示のときのみ

※2 拡大表示のときのみ

音声を再生する

共通操作 ファイルリスト画面で音声ファイルを選択

再生する	● (開始)
一時停止する	● (一時停止)
再生を再開する	● (再開)
音量を変更する	🔊
ミュート/ミュート解除を切り替える	[📧] (メニュー) → 「ミュート (#キー)」 / 「ミュート解除 (#キー)」 [🔊] でもミュート/ミュート解除を切り替えることができます。
音質を調整する	[📧] (メニュー) → 「イコライズ」 → 音質を選択
メールに添付して送信する	[📧] (メニュー) → 「メールで送信」
ファイル情報を確認する	[📧] (メニュー) → 「ファイル情報」
前のファイルを再生する	⏪
次のファイルを再生する	⏩
早送りする	⏩ を長押し
巻戻しする	⏪ を長押し

動画を再生する

共通操作 ファイルリスト画面で動画ファイルを選択

再生する	● (▶)
一時停止する	● (⏸)
音量を変更する	🔊
ミュート/ミュート解除を切り替える	[📧] (メニュー) → 「ミュート (#キー)」 / 「ミュート解除 (#キー)」 [🔊] でもミュート/ミュート解除を切り替えることができます。
明るさを調整する	[📧] (メニュー) → 「明るさ」 → 🔊 [2 ABC] / [8 TUV] でも調整できます。
メールに添付して送信する	[📧] (メニュー) → 「メールで送信」
ファイル情報を確認する	[📧] (メニュー) → 「ファイル情報」
前のファイルを表示する	⏪
次のファイルを表示する	⏩
早送りする	⏩ を長押し
巻戻しする	⏪ を長押し

ファイルを移動する

- 1 ファイルリスト画面でファイルを選択
- 2  (メニュー) → 「移動」
- 3 フォルダを選択
移動可能なフォルダが表示されます。
- 4 移動したいフォルダで  (OK)

新しいフォルダを作成する

- 1 ファイルリスト画面で  (メニュー)
- 2 「新規フォルダ作成」 → フォルダ名を入力 →  (保存)

フォルダ名やファイル名を変更する

- 1 ファイルリスト画面でフォルダまたはファイルを選択
- 2  (メニュー) → 「フォルダ名変更」 / 「ファイル名変更」
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力 →  (保存)

フォルダ／ファイルを消去する

- 1 ファイルリスト画面でフォルダまたはファイルを選択
- 2  (メニュー) → 「削除」 → 「はい」
■複数件消去する場合
- 1 ファイルリスト画面でファイルを選択
- 2  (メニュー) → 「選択操作」 → 「削除」
- 3 削除したいファイルにチェック →  (完了) → 「はい」
■全件消去する場合
- 1 ファイルリスト画面でフォルダまたはファイルを選択
- 2  (メニュー) → 「全件削除」 → 「はい」
ファイルおよびフォルダが全件消去されます。

フォルダ／ファイルでできること

■メインフォルダ（本体）

詳細	メモリの使用中の容量や空き容量を表示します。
----	------------------------

■ファイルリスト（デフォルトフォルダを選んでいる場合）

新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。
全件削除	ファイルリスト内のすべてのファイルを削除します。
フォルダ情報	フォルダの使用中の容量や件数を表示します。
メモリ情報	メモリの使用中の容量や空き容量を表示します。

■ファイルリスト（フォルダを選んでいる場合）

新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。
削除	1件削除します。
全件削除	すべてのフォルダ／ファイルを削除します。
フォルダ名変更	選んでいるフォルダの名前を変更します。
フォルダ情報	フォルダの使用中の容量や件数を表示します。
メモリ情報	メモリの使用中の容量や空き容量を表示します。

■ファイルリスト（ファイルを選んでいる場合）

メールで送信 ^{*1}	メールに添付して送信します。	
壁紙に設定 ^{*2}	壁紙に設定します。	
削除	1件削除します。	
コピー	1件コピーします。	
移動	1件移動します。	
選択操作	削除	選択したファイルを削除します。
	コピー	選択したファイルをコピーします。
	移動	選択したファイルを移動します。
全件削除	すべてのフォルダ／ファイルを削除します。	
ファイル名変更	選んでいるフォルダの名前を変更します。	
ファイル情報	ファイルの情報を表示します。	
メモリ情報	メモリの使用中の容量や空き容量を表示します。	
新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。	

※1 静止画、音声、動画ファイルのみ

※2 静止画ファイルのみ

メモリカードを利用する	10-2
メモリカードの概要	10-2
メモリカードを取り付ける／取り外す	10-2
メモリカード内のデータを確認する	10-3

メモ리카ードを利用する

メモ리카ードの概要

SDカードを利用すると、本機のデータフォルダと同じようにデータを保存できます。

・本機では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2014年6月現在)

なお、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

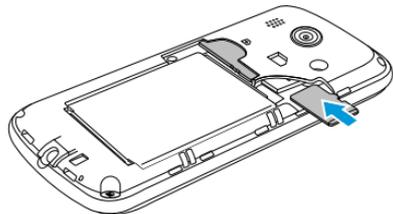
- ・SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまふことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。
- ・データの消去や上書きなどにご注意ください。
- ・SDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。

メモ리카ードを取り付ける／取り外す

・必ず電源を切ってから、行ってください。

SDカードを取り付ける

- 1 電池カバーを開く (P.1-8)
- 2 SDカードの端子部分を下にして、奥まで挿入する
 - ・SDカードが完全に取り付けられていることを確認してください。

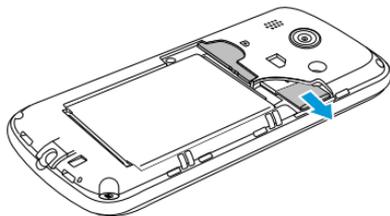


- 3 電池カバーを閉じる (P.1-9)

・電源を入れると「SD」が表示されます。「SD」が表示されていない場合は、SDカードを取り外して (P.10-3)、再度取り付けてください。

SDカードを取り外す

- 1 電池カバーを開く (P.1-8)
- 2 SDカードをまっすくに引き抜く



- 3 電池カバーを閉じる (P.1-9)

メモ리카ード内のデータを確認する

SDカード内のデータを表示する

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「データフォルダ」 → ●



以降は、データフォルダの説明に沿って操作してください。(P.9-2)

設定について	11-2
本体設定	11-2
画面設定	11-3
接続設定	11-3
通話設定	11-4
お買い上げ時の設定に戻す	11-4
登録内容をお買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）.....	11-4
設定内容をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）.....	11-5

本機では、「設定」メニューから次の設定ができます。

マナーモード設定	着信があったり、アラームが動作したりしたときの着信音、音量、バイブレーションを設定します。(P.11-11)
本体設定	言語や日時など本機の基本的な動作を設定します。(P.11-2)
画面設定	壁紙やバックライトの点灯時間など画面表示に関して設定します。(P.11-3)
接続設定	電波の送受信に関して設定したり、ネットワークの情報を表示したりします。(P.11-3)
通話設定	電話機能に関する共通動作を設定します。(P.11-4)
セキュリティ設定	本機やUSIMカードに関するセキュリティを設定します。(P.8-2)
ソフトウェア更新	ソフトウェアを更新したり、更新情報を表示したりします。(P.12-4)

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「本体設定」

Language	☑ 「English」 / 「日本語」 → ● (OK)
日時設定	☑ 「時刻フォーマット」 → ● (編集) → 「24時間」 / 「12時間」 → ● (OK) → ☑ (保存) ☑ 「自動時刻更新」 → ● (編集) → 「On」 → ● (OK) → ☑ (保存) ☑ 「自動時刻更新」 → ● (編集) → 「Off」 → 「時刻」 → ● (編集) → 時刻を編集 → ● (OK) → 「日付」 → ● (編集) → 日付を編集 → ● (OK) → ☑ (保存)
ショートカットキー	(P.2-3)
キーロック	(P.8-3)
電源管理	☑ 「電源On」 → ● (編集) → 「On」 / 「Off」 → ● (OK) (→ Onにした場合、時刻を編集 → ● (OK)) → ☑ (保存) ☑ 「電源Off」 → ● (編集) → 「On」 / 「Off」 → ● (OK) (→ Onにした場合、時刻を編集 → ● (OK)) → ☑ (保存)
エニーキーアンサー	☑ 「On」 / 「Off」 → ● (OK)
メール添付ファイル保存先	☑ 「メモリカード」 / 「本体」 → ● (OK)
リセット	(P.11-4, P.11-5)

画面設定

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「画面設定」

壁紙	📖 「プリセット壁紙」 / 「その他」 → ファイルを選択 → ● (設定)
バックライト点灯時間	📖 点灯時間を入力 → ● (OK)
明るさ	📖 🔄 で明るさを選択 → ● (保存)
キーボードバックライト	📖 「持続時間」 → ● (編集) → 「5秒」 / 「10秒」 / 「15秒」 / 「30秒」 → ● (OK) → 📧 (保存) 📖 「バックライトOn時間」 → ● (編集) → 「カスタマイズ」 / 「常にOn」 (→ カスタマイズの場合、「開始」 / 「終了」 → 時刻を入力 → ● (OK)) → ● (OK) → 📧 (保存)

接続設定

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「接続設定」

機内モード	(P.1-12)
ネットワーク情報	ネットワーク情報を表示します。

共通操作 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「通話設定」

発着信規制	(P.3-13)
通話時間	通話時間を表示します。
簡易留守録	(P.3-5)
自動応答	<p>☑ 「設定」 → 「On」 / 「Off」 (→ Onにした場合、操作暗証番号を入力) → ● (OK)</p> <p>☑ 「応答時間」 → 応答時間を入力 → ● (OK)</p>
発信者番号通知	(P.3-14)
国際コード設定	☑ 国際コードを入力 → ● (保存)

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す (オールリセット)

お客様が登録したデータをすべて消去し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「本体設定」
- 2 「リセット」 → 「オールリセット」
- 3 操作暗証番号を入力 → 「はい」
自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

- オールリセットは、電池がフル充電の状態 () で行ってください。
- 操作暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。
- USIMカードやSDカードに登録されているデータは消去されません。
- オールリセットすると、お客様が登録した内容や履歴などは削除されます。元に戻すことはできませんので、あらかじめご了承ください。

設定内容をお買い上げ時の状態に戻す (設定リセット)

各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。お客様が登録したデータや履歴は消去されません。

- 1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「本体設定」
- 2 「リセット」 → 「設定リセット」
- 3 操作暗証番号を入力 → 「はい」
自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

- 設定リセットは、電池がフル充電の状態 () で行ってください。
- 操作暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。
- USIMカードやSDカードに登録されているデータは消去されません。

USIMカードのお取り扱い.....	12-2
USIMカードをご利用になる前に.....	12-2
USIMカードを取り付ける／取り外す.....	12-3
PINコード.....	12-3
ソフトウェア更新.....	12-4
故障かな？と思ったら.....	12-5
こんなときはご利用になれません.....	12-6
絵文字一覧.....	12-7
メモリ容量一覧.....	12-7
主な仕様.....	12-8
索引.....	12-9
保証とアフターサービス.....	12-11
保証について.....	12-11
アフターサービスについて.....	12-11
お問い合わせ先一覧.....	12-12

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

本機をご利用になるお客様にソフトバンクから貸与されているICカードのことをUSIMカードといい、お客様の電話番号などの情報が記録されています。本機を使用するためにはUSIMカードを取り付けてください。USIMカードに付属の説明書も参照してください。



- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードはソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- IC部分を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を与えると、USIMカードを正しく認識しなくなり、本機がリセットされる場合があります。その場合、リセット終了後に待受画面に戻りますが、故障ではありません。また、「USIM未挿入です」と表示された場合は、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

その他ご注意

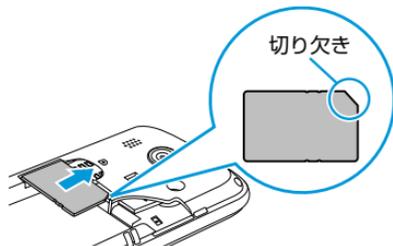
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
 - 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
 - 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
 - USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（P.12-12）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
 - お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
 - お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- 解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、本機やSDカードに保存した音楽／静止画／動画などのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

・必ず電源を切ってから、行ってください。

取り付ける

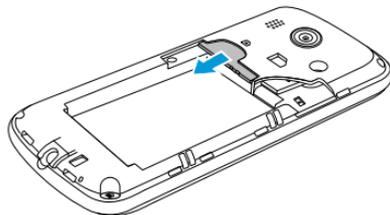
- 1 電池カバーを開く (P.1-8)
- 2 電池バックを取り外す (P.1-9)
- 3 USIMカードのIC部分を下にして、奥まで挿入する
 - ・USIMカードが完全に取り付けられていることを確認してください。



- 4 電池バックを取り付ける (P.1-8)
- 5 電池カバーを閉じる (P.1-9)

取り外す

- 1 電池カバーを開く (P.1-8)
- 2 電池バックを取り外す (P.1-9)
- 3 USIMカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く



- 4 電池バックを取り付ける (P.1-8)
- 5 電池カバーを閉じる (P.1-9)

PINコード

USIMカードには、「PINコード」という暗証番号があります。第三者による無断利用を防ぐため、初期設定からの変更をおすすめします。(お買い上げ時は、「9999」に設定されています)

・PINコードを変更するには：(P.8-2)

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ・確認／更新には、通信料はかかりません。
- ・ソフトウェア更新には、約30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ・ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ・ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ・ソフトウェア更新中は、ほかの機能は操作できません。
- ・必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先(P.12-12)までご連絡ください。

1 待受画面で ● (メニュー) → 「設定」 → 「ソフトウェア更新」 → 「ソフトウェア更新」

2  (Yes) → 画面の指示に従って操作

更新用データのダウンロード完了後、自動的に再起動を行い、ソフトウェア更新が開始されます。

「ソフトウェア更新完了しました。」と表示されたあと、再び再起動を行い、更新完了のインフォメーションが表示されます。（この間、60秒以上かかる場合があります）

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新中は、電波感度が良好な場所に滞在することをおすすめします。電話の発着信やメールの送受信は更新中は利用できません。続行しま

Yes

No

更新結果を確認するには

待受画面で ● (メニュー) → 「設定」→「ソフトウェア更新」→「更新結果」



予約更新について

ソフトバンクから配信されるお知らせメールより、予約更新を利用できます。予約更新を利用すると、予約時刻にソフトウェア更新の確認画面が表示されます。確認画面からソフトウェア更新ができます。

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンクの故障受付 (P.12-12) にご相談ください。
- 本機に保存されているデータがソフトウェア更新によって消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は、アラーム音やスケジュール通知音は鳴りません。

以下の項目を確認して、それでも正常に戻らない場合は、お問い合わせ先 (P.12-12) までご連絡ください。

電源が入らない

- 電源ボタンを長く (1秒以上) 押ししていますか？
- 電池切れになっていませんか？
- 電池パックは正しく取り付けられていますか？ (P.1-8)

電源を入れたのに操作できない

- PINコード入力画面が表示されていませんか？
PINコード (P.8-2) がONになっています。PINコードを入力してください。

電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。電源Off後、USIMを挿入してください。」と表示される

- USIMカードを正しく取り付けていますか？ (P.12-3)
- 誤ったUSIMカードを取り付けていませんか？
使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。
- USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか？
乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。

キー操作ができない

- 「解除」および「決定キーを長押し」が表示されていませんか？
誤動作防止が設定されています。解除してください。

画面が見づらい

- バックライトの明るさを調整してください。 (P.11-3)

電話が繋がらない、またはメールやMy SoftBankが利用できない

- 「圏外」が表示されていませんか？ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？
電波の届く場所に移動してから再度操作してください。
- 「機内モード」が表示されていませんか？
機内モードを解除してください。 (P.1-12)
- 海外でご利用ではありませんか？
本機は、海外でご利用いただけません。

電話がかかけられない

- ・市外局番を忘れていませんか？
- ・発信規制を設定していませんか？ (P.3-13)

電話をかけても話中音（ブザー…）が鳴ってつながらない

- ・市外局番を忘れていませんか？
- ・発信規制を設定していませんか？ (P.3-13)

時計表示がリセットされた

- ・設定した時刻は、電池パックを交換しても保持されますが、長い間電池パックを外していたり電池残量が空の状態で放置しているとリセットされることがあります。もう一度、日時設定 (P.11-2) または自動時刻更新 (P.11-2) を行ってください。

充電できない

- ・付属の充電器と本機がmicroUSBケーブルで確実に接続されていますか？ (P.1-10)
- ・付属の充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？
- ・電池パックが本機に取り付けられていますか？ (P.1-8)
- ・端子部が汚れていませんか？ (本機の充電端子と外部接続端子、電池パックの端子、付属の充電器の接続コネクタ、microUSBケーブルの端子) 端子部をきれいにしてください。
- ・周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電できないことがあります。

熱くなる

- ・充電中に、付属の充電器が発熱することがあります。また、長時間利用すると、本機が熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

電池の消耗が早い

- ・使用環境 (気温／充電状況／電波状態)、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。「主な仕様」(P.12-8)、「電池パックの持ちについて」(P.1-7)を参照してください。

イヤホンから音が聞こえない、音が小さい、または雑音が入る

- ・3.5mmマイクロフォン付きイヤホン [ZELAD1] (オプション品) 以外のマイクロフォン付きイヤホンを使用していませんか？ (P.1-2)

こんなときはご利用になれません

「」が表示されている

- ・サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるためです。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

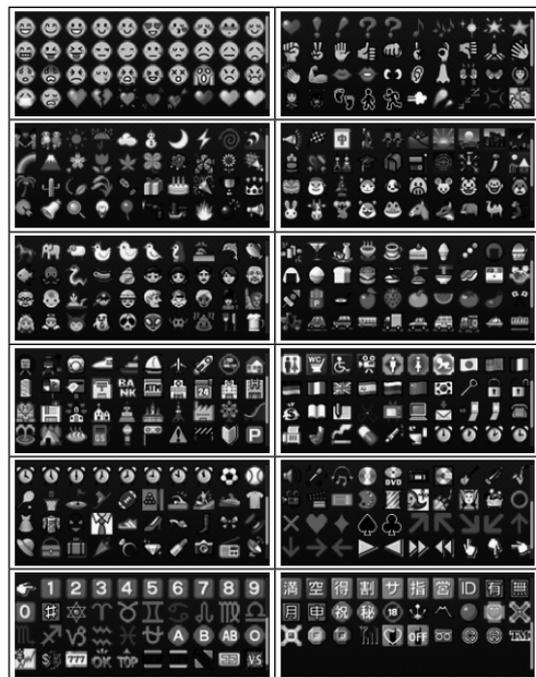
「解除」および「決定キーを長押し」が表示されている

- ・誤動作防止が設定されています。(P.8-3) キー操作をするためには、誤動作防止を解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。

電池残量が不足している旨のメッセージが表示されている

- ・電池残量がなくなっています。電池パックを充電する (P.1-10) か、充電されている予備の電池パックと交換 (P.1-8) してください。

絵文字一覧



メモリ容量一覧

データフォルダ	最大128MB	
スケジュール	最大500件	
電話帳	150件	
メール	受信ボックス	10240KB/1000件
	下書き	2048KB/10件
	送信ボックス	4096KB/500件

主な仕様

301Z本体

質量（電池パック装着時）	85g
サイズ（W×H×D）	約49×117×13mm
連続待受時間	680時間
連続通話時間	330分
充電時間	180分
最大出力	0.25W

電池パック（ZEBAT1）

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1100mAh
サイズ（W×H×D）	約54.5×34×5.7mm

ACアダプタ（ZEGAP1）

質量	32g
定格電圧	DC5V±5%
定格電流	1.0A-1.1A
入力電圧	100V-240V、50Hz-60Hz

microUSBケーブル（ZEDAD1）

ケーブルの長さ	1200mm
使用プラグ	Standard-A、micro-B
充電温度範囲	0-55℃

英数字

Cookie	
消去	5-2
設定	5-2
Language	11-2
My SoftBank	5-2
設定メニュー	5-2
PINコード	12-3
PIN認証を有効にする	8-2
PINロック解除	8-3
変更	8-2
PUKコード	8-2, 8-3
SDカード	10-2
取り付ける	10-2
取り外す	10-3
SMS	4-2
SMS設定	4-20
SMS通知	4-4
一般設定	4-19
作成／送信	4-9
S!メール	4-2
S!メール設定	4-20
S!メール通知	4-4
一般設定	4-19
作成／送信	4-6
USIMカード	12-2
取り付ける	12-3
取り外す	12-3

あ

明るさ (バックライト)	11-3
宛先 (S!メール)	4-8
アフターサービス	12-11
アラーム	7-4
暗証番号	1-13
インフォメーション	1-6
絵文字一覧	12-7
絵文字入力	2-7
オーナー情報	3-11
オールリセット	11-4
お買い上げ品	ii
お問い合わせ先一覧	12-12
オプションサービス	3-12
音声の再生	9-4

か

顔文字入力	2-7
各部の名称	1-2
画像の表示	9-3
カメラ	6-2
画面設定	11-3
カレンダー	7-2
簡易留守録	3-5
キーロック	8-3
自動	8-3
パスワード	8-3
記号入力	2-7
機内モード	1-12
緊急速報メール	4-18
緊急速報メール通知	4-4
緊急通報	3-12
クイックオペレーション	2-2

さ

サーバーメール	4-11
下書き	4-10
充電	1-10
充電器	1-6
ショートカットキー	2-3
新着メール手動受信	4-13
ステータスアイコン	1-4
ストップウォッチ	7-6
スピードダイヤル	3-3
静止画の撮影	6-4
世界時計	7-6
接続設定	11-3
設定リセット	11-5
操作暗証番号	1-13
変更	8-2
有効にする	8-2
ソフトウェア更新	12-4
更新結果	12-5
予約更新	12-5
ソフトキー	iii

た

単位換算	7-7
着信音	2-4
着信拒否	3-8
拒否番号リスト	3-6
通知不可電話	3-8
未登録電話番号	3-8
通常モード	1-12
通知アイコン	1-4
通話設定	11-4
通話履歴	3-9
ディスプレイ	1-4
データフォルダ	9-2
電源を入れる／切る	1-10
電卓	7-7
電池バック	1-6
取り付ける	1-8
取り外す	1-9
電池レベル表示	1-7
添付ファイル	4-7
保存	4-15
電話帳	2-10
グループ	2-13
バックアップ	2-14
電話を受ける	3-4
着信拒否	3-6
着信保留	3-5
電話をかける	3-2
国際電話	3-4
スピードダイヤル	3-3
リダイヤル	3-3
動画の再生	9-4
動画の撮影	6-5
ドライブモード	1-11

は

バイプレータ	2-4
発信者番号通知サービス	3-14
発信規制サービス	3-13
ファイルの確認	9-2
ファイル／フォルダの編集	9-5
ボイスレコーダー	7-5
保証	12-11
本体設定	11-2

ま

マナーモード	1-11
メール受信	4-11
メールの振り分け	4-17
メールの利用	4-15
削除	4-14
転送	4-14
返信	4-14
保護	4-14
文字入力	2-6
文字入力モード	2-5
文字編集	2-8

や

ユーザー辞書	2-9
--------	-----

ら

リダイヤル	3-3
-------	-----

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、お問い合わせ先（P.12-12）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内のネジをおおっているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（P.12-12）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0113（無料）

SoftBank 301Z 取扱説明書

2014年11月 第2版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 301Z

製造元：ZTEコーポレーション

SoftBank 301Z User Guide 取扱説明書



モバイルリサイクルネットワーク
0120-977793

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。